

## 現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事

---

### 1 現場の状況

工事場所は、福山市北吉津町五丁目6番15号に位置し、福山市道奈良津26号線に接しています。

工事期間中、2026年7月18日（土）から8月24日（月）は夏休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、児童が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

### 2 別途工事

なし

### 3 留意事項

- (1) 8月25日（火）から2学期が開始するため、それまでに騒音、粉塵、振動が発生する撤去作業等及び外部スロープに関する工事を完了させてください。
- (2) 給食室周辺の仮囲いは、夏休み期間中は成形鋼板を設置してください。夏休み期間以外は、第三者の車両が通行できる幅員を確保し、カラーコーン程度で工事範囲の明示と安全の確保を行ってください
- (3) 外壁面の改修工事に関しては、既存建具撤去後から新設建具取付けまでの期間は施錠付仮設間仕切壁を設置してください。
- (4) 工事場所の隣室及び廊下に粉塵の侵入対策とし、内部建具等の開口部には、目張り養生など必要な対策を講じてください。また、汚損した場合は速やかに清掃等の復旧を行って下さい。
- (5) 工事中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (6) 校舎等の使用状況により、施工方法及び内容に変更が生じる場合があります。
- (7) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、児童、第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (8) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議のうえ決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (9) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。
- (10) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「その他がれき類、建設混合廃棄物、廃プラ」です。

#### 4 一般留意事項

- (1) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。
- (4) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (5) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (6) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (7) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。また、仮囲い等については、設計図書等をもとに確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設、一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (8) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

# 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事

図 面 目 録	
図面番号	図 面 名 称
1	建築改修工事特記仕様書 No-1
2	建築改修工事特記仕様書 No-2
3	建築改修工事特記仕様書 No-3
4	建築改修工事特記仕様書 No-4
5	建築改修工事特記仕様書 No-5
6	建築改修工事特記仕様書 No-6
7	建築工事特記仕様書 No-1
8	建築工事特記仕様書 No-2
9	建築工事特記仕様書 No-3
10	鉄筋工事仕様書 No. 1
11	鉄筋工事仕様書 No. 2
12	敷地案内図・配置図
13	平面図（改修前）
14	平面図（改修後）
15	立面図、展開図、建具表
16	平面図（給排水衛生設備）
17	平面図（ガス設備）
18	平面図（電気設備）

福山市建設局建築部営繕課				発注	2026年 5月	
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長	

工事名称		福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事	
図面名称		表紙・図面目録	
縮尺率		図面No	
福山市建設局建築部営繕課		A1=100%	
		A2= 71%	
		A3= 50%	



項目	特記事項																																																																																
④ 防水改修工事	<p>・ 施工数量調査 調査範囲 [1.6.2][1.6.3] ・ 図示による 調査方法 ・ 図示による 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による 調査報告書(提出部数・2部)</p> <p>・ 降雨等に対する養生方法(とい共) ※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)~(ウ)による [3.1.3]</p> <p>・ 改修工法の種類及び工程 防水改修工法 [3.1.4] ・ 図示による</p> <p>・ 既存防水層の処理 既存保護層の撤去 [3.1.4][3.2.6] ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う(M4S・M4SI・M4C・M4DI・L4X) ・ 行わない 立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去 ・ 行う(POAS・POASI・POD・PODI・POS・POSI・POX・M4S・M4SI・S4S・S4SI) ・ 行わない(POAS・POASI・POD・PODI・POS・POSI・POX・M4S・M4SI・S4S・S4SI) 屋内防水 ・ 保護層を新設(範囲・図示による)</p> <p>・ 既存下地の処理 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 [3.2.6] ・ 図示による POS工法及びPOSI工法(機械的固定法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4)(ウ)(g)①~③による 設備機架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、増屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ・ 監督職員と協議する ・ 図示による</p> <p>・ アスファルト防水 新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種類 [3.2.5][3.3.2~3.3.5]  <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>新設種類</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ P2A</td> <td>・ A-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">※ 927/97/44 厚さ0.15mm以上 又は77/97/97/97 70g/m程度</td> </tr> <tr> <td>・ A-2</td> </tr> <tr> <td>・ A-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ PIB</td> <td>・ B-1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td>・ B-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ P2A I</td> <td>・ A I-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">※ 77/97/97/97 70g/m程度</td> </tr> <tr> <td>・ A I-2</td> </tr> <tr> <td>・ A I-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ PIB I</td> <td>・ B I-1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td>・ B I-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 ※ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 コンクリートの仕上りの平たんさの種類 (種) 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 立上り部の保護方法 ・ 乾式保護材(乾式保護材の材料) ・ コンクリート押え ・ モルタル押え(屋内等) ・ れんが押え (図示による) ・ れんがの材料 (※JIS R 1250)</p> <p>新設防水層(屋根露出工法)の種類  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種類</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ M4C</td> <td>・ C-1</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">※ 77/97/97/97 70g/m程度</td> <td rowspan="4">※ 77/97/97/97 70g/m程度</td> <td rowspan="4">/</td> <td rowspan="4">・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ C-2</td> </tr> <tr> <td>・ C-3</td> </tr> <tr> <td>・ C-4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ M3D</td> <td>・ D-1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ D-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ POD</td> <td>・ O-1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ O-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ POD I</td> <td>・ DI-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ DI-2</td> </tr> <tr> <td>・ M4DI</td> </tr> </tbody> </table> </p></p>	改修工法	新設種類	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	・ P2A	・ A-1	/	/	※ 927/97/44 厚さ0.15mm以上 又は77/97/97/97 70g/m程度	・ A-2	・ A-3	・ PIB	・ B-1	/	/	/	・ B-2	・ P2A I	・ A I-1	/	/	※ 77/97/97/97 70g/m程度	・ A I-2	・ A I-3	・ PIB I	・ B I-1	/	/	/	・ B I-2	改修工法	新設種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・ M4C	・ C-1	/	/	※ 77/97/97/97 70g/m程度	※ 77/97/97/97 70g/m程度	/	・ 適用する	・ C-2	・ C-3	・ C-4	・ M3D	・ D-1	/	/	/	/	/	脱気装置 ・ 設ける	・ D-2	・ POD	・ O-1	/	/	/	/	/	脱気装置 ・ 設ける	・ O-2	・ POD I	・ DI-1	/	/	/	/	/	脱気装置 ・ 設ける	・ DI-2	・ M4DI
改修工法	新設種類	施工箇所	断熱材	絶縁用シート																																																																													
・ P2A	・ A-1	/	/	※ 927/97/44 厚さ0.15mm以上 又は77/97/97/97 70g/m程度																																																																													
	・ A-2																																																																																
	・ A-3																																																																																
・ PIB	・ B-1	/	/	/																																																																													
	・ B-2																																																																																
・ P2A I	・ A I-1	/	/	※ 77/97/97/97 70g/m程度																																																																													
	・ A I-2																																																																																
	・ A I-3																																																																																
・ PIB I	・ B I-1	/	/	/																																																																													
	・ B I-2																																																																																
改修工法	新設種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																																										
				種類	使用量																																																																												
・ M4C	・ C-1	/	/	※ 77/97/97/97 70g/m程度	※ 77/97/97/97 70g/m程度	/	・ 適用する																																																																										
	・ C-2																																																																																
	・ C-3																																																																																
	・ C-4																																																																																
・ M3D	・ D-1	/	/	/	/	/	脱気装置 ・ 設ける																																																																										
	・ D-2																																																																																
・ POD	・ O-1	/	/	/	/	/	脱気装置 ・ 設ける																																																																										
	・ O-2																																																																																
・ POD I	・ DI-1	/	/	/	/	/	脱気装置 ・ 設ける																																																																										
	・ DI-2																																																																																
	・ M4DI																																																																																

項目	特記事項																																																										
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個) 屋内防水 防水層の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P1E</td> <td>・ E-1</td> <td rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td>・ P2E</td> <td>・ E-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・ 設ける ( ※ 図示による ) ・ 設けない E-1の行程3を行う部位 ※ 貯水槽、浴室等常時水に接する部位 屋上排水溝 ※ 図示による</p> <p>改質アスファルトシート防水 新設防水層の種類 [3.2.5][3.4.2][3.4.3]  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種類</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ M4AS</td> <td>・ AS-T1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">改質アスファルトシート製造所の仕様</td> <td rowspan="3">改質アスファルトシート製造所の仕様</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ AS-T2</td> </tr> <tr> <td>・ AS-J2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ M3AS</td> <td>・ AS-T3</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">改質アスファルトシート製造所の仕様</td> <td rowspan="3">改質アスファルトシート製造所の仕様</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ AS-T4</td> </tr> <tr> <td>・ AS-J1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・ POAS</td> <td>・ AS-T3</td> <td rowspan="5">/</td> <td rowspan="5">/</td> <td rowspan="5">改質アスファルトシート製造所の仕様</td> <td rowspan="5">改質アスファルトシート製造所の仕様</td> <td rowspan="5">/</td> <td rowspan="5">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ AS-T4</td> </tr> <tr> <td>・ AS-J1</td> </tr> <tr> <td>・ AS-J3</td> </tr> <tr> <td>・ AS-J3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ M3ASI ・ M4ASI ・ POASI</td> <td>・ ASI-T1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">改質アスファルトシート製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改質アスファルトシート製造所の仕様</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける 防湿層 ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ ASI-J1</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ( )mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L=30×15×2.0(mm)程度 屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ 種類 ( ) 厚さ ( ) 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個) 絶縁断熱工法の防湿シート ・ 設置する ・ 設置しない</p> </p>	工法	種別	施工箇所	・ P1E	・ E-1	/	・ P2E	・ E-2	改修工法	新設種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・ M4AS	・ AS-T1	/	/	改質アスファルトシート製造所の仕様	改質アスファルトシート製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける	・ AS-T2	・ AS-J2	・ M3AS	・ AS-T3	/	/	改質アスファルトシート製造所の仕様	改質アスファルトシート製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける	・ AS-T4	・ AS-J1	・ POAS	・ AS-T3	/	/	改質アスファルトシート製造所の仕様	改質アスファルトシート製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける	・ AS-T4	・ AS-J1	・ AS-J3	・ AS-J3	・ M3ASI ・ M4ASI ・ POASI	・ ASI-T1	/	/	改質アスファルトシート製造所の仕様	改質アスファルトシート製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける 防湿層 ・ 設ける	・ ASI-J1
工法	種別	施工箇所																																																									
・ P1E	・ E-1	/																																																									
・ P2E	・ E-2																																																										
改修工法	新設種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																				
				種類	使用量																																																						
・ M4AS	・ AS-T1	/	/	改質アスファルトシート製造所の仕様	改質アスファルトシート製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける																																																				
	・ AS-T2																																																										
	・ AS-J2																																																										
・ M3AS	・ AS-T3	/	/	改質アスファルトシート製造所の仕様	改質アスファルトシート製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける																																																				
	・ AS-T4																																																										
	・ AS-J1																																																										
・ POAS	・ AS-T3	/	/	改質アスファルトシート製造所の仕様	改質アスファルトシート製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける																																																				
	・ AS-T4																																																										
	・ AS-J1																																																										
	・ AS-J3																																																										
	・ AS-J3																																																										
・ M3ASI ・ M4ASI ・ POASI	・ ASI-T1	/	/	改質アスファルトシート製造所の仕様	改質アスファルトシート製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける 防湿層 ・ 設ける																																																				
	・ ASI-J1																																																										

項目	特記事項																																																																																																				
④ 防水改修工事	<p>・ 合成高分子系ルーフィングシート防水 新設防水層の種類 [3.2.5][3.5.2~3.5.4]  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種類</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ POS ・ S4S</td> <td>・ S-F1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ S-M1</td> <td>・ S-M1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ S3S</td> <td>・ S-F1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ M4S</td> <td>・ S-M1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ POS1 ・ S3S1 ・ S4S1</td> <td>・ SI-F1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)(種類)</td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ SI-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ M4S1</td> <td>・ SI-M1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(a)(種類)</td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ SI-M2</td> </tr> </tbody> </table> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ・ 設置する ・ 設置しない</p> <p>屋内防水 防水層の種類  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗層</th> <th>立上り部の保護モルタル塗層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ S-C1</td> <td>/</td> <td>※ 7mm以下</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table> <p>合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ ( )mm以上 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個) 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・ 行う ( 図示による ) プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合) ・ 行う ( 図示による ) ・ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による</p> <p>④ 防水改修工事 新設防水層(ウレタンゴム系塗膜防水)の種類 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種類</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ P0X</td> <td>・ X-1</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">/</td> <td rowspan="3">主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="3">主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ X-2</td> </tr> <tr> <td>・ X-1H ・ X-2H</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ L4X</td> <td>・ X-1</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">/</td> <td rowspan="2">主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ X-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ 主材料の製造所の仕様 設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個)</p> </p></p></p>	改修工法	新設種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・ POS ・ S4S	・ S-F1	/	/	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける	・ S-F2	・ S-M1	・ S-M1	/	/	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける	・ S-M2	・ S3S	・ S-F1	/	/	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける	・ S-F2	・ M4S	・ S-M1	/	/	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける	・ S-M2	・ POS1 ・ S3S1 ・ S4S1	・ SI-F1	/	/	改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)(種類)	ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける	・ SI-F2	・ M4S1	・ SI-M1	/	/	改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(a)(種類)	ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける	・ SI-M2	種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル塗層	立上り部の保護モルタル塗層	・ S-C1	/	※ 7mm以下	/	改修工法	新設種類	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・ P0X	・ X-1	/	/	主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける	・ X-2	・ X-1H ・ X-2H	・ L4X	・ X-1	/	/	主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける	・ X-2
改修工法	新設種類					施工箇所	断熱材			仕上塗料			高日射反射率防水							備考																																																																																	
		種類	使用量																																																																																																		
・ POS ・ S4S	・ S-F1	/	/	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける																																																																																														
	・ S-F2																																																																																																				
・ S-M1	・ S-M1	/	/	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける																																																																																														
	・ S-M2																																																																																																				
・ S3S	・ S-F1	/	/	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける																																																																																														
	・ S-F2																																																																																																				
・ M4S	・ S-M1	/	/	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける																																																																																														
	・ S-M2																																																																																																				
・ POS1 ・ S3S1 ・ S4S1	・ SI-F1	/	/	改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)(種類)	ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける																																																																																														
	・ SI-F2																																																																																																				
・ M4S1	・ SI-M1	/	/	改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(a)(種類)	ルーフィングシートの製造所の仕様	/	脱気装置 ・ 設ける																																																																																														
	・ SI-M2																																																																																																				
種別	施工箇所	保護層																																																																																																			
		平場のモルタル塗層	立上り部の保護モルタル塗層																																																																																																		
・ S-C1	/	※ 7mm以下	/																																																																																																		
改修工法	新設種類	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																																																															
			種類	使用量																																																																																																	
・ P0X	・ X-1	/	/	主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドリル ・ 設ける																																																																																															
	・ X-2																																																																																																				
	・ X-1H ・ X-2H																																																																																																				
・ L4X	・ X-1	/	/	主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける																																																																																															
	・ X-2																																																																																																				

項目	特記事項																																									
④ 防水改修工事	<p>新設防水層(ゴムアスファルト系塗膜防水)の種類  <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>新設種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工程数及び各工程の使用量</th> <th>保護層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P1Y</td> <td>※ Y-2</td> <td>/</td> <td>※ 主材料の製造所の仕様による</td> <td>保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ ( mm)</td> </tr> <tr> <td>・ P2Y</td> <td>※ Y-2</td> <td>/</td> <td>※ 主材料の製造所の仕様による</td> <td>保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ ( mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2、3][3.7.7、8]  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シーリング充填工法</li> <li>○ シーリング再充填工法</li> <li>○ 拡張シーリング再充填工法</li> <li>○ フリッジ工法</li> <li>○ ボンドブレイカー張り</li> <li>○ エッジング材張り</li> <li>○ エッジング材張り</li> </ul> <p>シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部建具廻り</td> <td>変成シリコーン (MS-2)</td> </tr> <tr> <td>アルミパネル</td> <td>変成シリコーン (MS-2)</td> </tr> <tr> <td>床・壁ビス穴等補修</td> <td>変成シリコーン (MS-2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・ 図示による シーリング材の目地寸法 ・ 図示による 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ ひも状接着性試験  <p>その他の材種 [3.8.2][3.8.3]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用鋼管</li> <li>・ 硬質ポリ塩化ビニル管</li> <li>・ 表面処理鋼板(規格番号)</li> <li>・ (表面及び裏面の塗膜の種類)</li> </ul> <p>とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け関係 ※ 改修標準仕様書表3.8.2による ・ 図示による 多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 既存のといその他の除去及び降雨等に対する養生方法 ・ 図示による 鋼管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書表3.8.4による ルーフトレンの種類及び呼び  <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ろく屋根用たて形1型</td> <td>・ ねじ込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ろく屋根用横形1型</td> <td>・ ねじ込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ バルコニー中継用</td> <td>・ ねじ込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ バルコニー用</td> <td>・ ねじ込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ バルコニー用</td> <td>・ 差し込み式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>たてどい受金物の取付け ※ 図示による ルーフトレンの取付け ※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する  <p>種類 [3.9.2][3.9.3]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押出形材形 ( 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形 )</li> <li>・ 板材折曲げ形 ( オープン形式 ・ シール形式 )</li> <li>本体幅 ( ) mm 板厚 ( ※ 2.0mm ・ mm )</li> </ul> <p>表面処理 種別 ( ) 種 色合等 ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 既存立木等の除去 ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示による 板材折曲げ形の立木の取付け方法 ※ 図示による 立木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による</p> </p></p></p></p></p></p></p></p>	改修工法	新設種類	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層	・ P1Y	※ Y-2	/	※ 主材料の製造所の仕様による	保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ ( mm)	・ P2Y	※ Y-2	/	※ 主材料の製造所の仕様による	保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ ( mm)	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	外部建具廻り	変成シリコーン (MS-2)	アルミパネル	変成シリコーン (MS-2)	床・壁ビス穴等補修	変成シリコーン (MS-2)	種類	呼び	施工箇所	・ ろく屋根用たて形1型	・ ねじ込み式		・ ろく屋根用横形1型	・ ねじ込み式		・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式		・ バルコニー用	・ ねじ込み式		・ バルコニー用	・ 差し込み式	
改修工法	新設種類	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層																																						
・ P1Y	※ Y-2	/	※ 主材料の製造所の仕様による	保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ ( mm)																																						
・ P2Y	※ Y-2	/	※ 主材料の製造所の仕様による	保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ ( mm)																																						
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																									
外部建具廻り	変成シリコーン (MS-2)																																									
アルミパネル	変成シリコーン (MS-2)																																									
床・壁ビス穴等補修	変成シリコーン (MS-2)																																									
種類	呼び	施工箇所																																								
・ ろく屋根用たて形1型	・ ねじ込み式																																									
・ ろく屋根用横形1型	・ ねじ込み式																																									
・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式																																									
・ バルコニー用	・ ねじ込み式																																									
・ バルコニー用	・ 差し込み式																																									

工事名称  
福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事

図面名称  
建築改修工事特記仕様書 No-2

福山市建設局建設部営繕課  
設計  
2026年 5月

縮尺率	図面No
A1=100%	2/18
A2= 71%	
A3= 50%	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項												
4	・ 施工数量調査	調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示による 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び 錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の 形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に 表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による 調査報告書の部数 ( 2部 )	4-1	・ ひび割れ部改修 工法	・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5~7] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 130 0.2以上~0.3未満 50~100 40 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 100~200 70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0未満 150~250 130 注入状況の確認方法 ※ コアの採取を行う 採取部数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 採取部の補修方法 ※ 図示による ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ 欠損部改修工法 ・ 充填工法 [4.1.4][4.1.4.7] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	4-2	・ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.5~8] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 130 0.2以上~0.3未満 50~100 40 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 100~200 70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0未満 150~250 130 注入状況の確認方法 ※ コアの採取を行う 採取部数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 採取部の補修方法 ※ 図示による ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ 欠損部改修工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.9.10] ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 ・ 現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8.2 コンクリート工事による) ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する(形状・図示による) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※ 図示による	4-3	・ タイルの形状、寸法等	・ タイルの形状、寸法等 [4.4.5][4.4.8] 形状/寸法 再生材料の適用 吸水率による区分 I類 II類 III類 地ゆう無 有 無 標準特注 有 無 備考 見本置き ・ 行う(施工箇所) ・ 行わない 試験張り ・ 行う(範囲、仕様等は図示による) ・ 行わない ・ タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.8] 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・ タイル張替え工法 張替え用材料 ・ 接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・ 張付けモルタル ( 現場調合材料 ・ 既調合モルタル ) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 改修標準仕様書表4.4.2による ・ 図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目貫し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による) タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目貫し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による) シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 目地詰め(※ 行う ・ 行わない)	4-4	・ 浮き部改修工法	・ 浮き部改修工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.11.16] 工法の種類 アーカービンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 注入量(mL/箇所) ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 - - ※ 25 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 - - ※ 25 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50 ・ 充填工法 - - - - - ・ モルタル塗替え工法 - - - - - アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入工法用材料 ・ ポリマーセメントスラリー 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張接着性 (N/mm2) 曲げ性能 (N/mm2) 吸水率 (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2) 3以上 3以上 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00 充填工法用材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・ 現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8.2 コンクリート工事による) ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する(形状・図示による) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による	4-5	・ 目地改修工法	・ 目地改修工法 [4.1.4][4.4.16] ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・ 図示による	4-6	・ 外壁塗装工事	・ 外壁塗装工事 [4.5.4] 工法 処理範囲 下地面の補修 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 塗膜はく離工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 水洗い工法 ※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示による ○ 下地調整塗材 [4.5.2] ※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル 新規仕上塗材の種類 [4.1.5][4.5.2] ・ 薄付け仕上塗材 種類(呼び名) 仕上げの形状 工法 防火材料 ・ 厚付け仕上塗材(外装厚塗材C) 種類(呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ 厚付け仕上塗材(外装厚塗材Si、外装厚塗材E) 種類(呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ 適用する ・ 適用する	4-7	・ 建築改修工事	○ 襖層仕上塗材 種類(呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料 ・ 樹脂 ※ アクリル系 ・ ※ 耐水性 3種 ・ 外観 ※ つやあり ・ ※ メタリック ・ 溶媒 ※ 水系 ・ 可とう形改修仕上塗材 種類(呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料 ・ 外壁塗装 防水材塗り 仕上げの形状 [4.1.5][4.7.2.3] 工法 仕上塗材の耐水性 下地準動線材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修)による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修)による。 吹付け工法の模様材の種類 ・ ( 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) ) 外壁用仕上塗料の種類 ・ ( 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) ) ○ 改修工法 [5.1.3] 建具の種類 かつせ工法 撤去工法 適用箇所 ○ アルミニウム製建具 ・ 樹脂製建具 ・ 鋼製建具 ・ 鋼製軽量建具 ・ ステンレス製建具 ・ 木製建具 新機に建具を設ける場合 壁部分の開口の明け方 ※ 図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示による 再使用材( ) ・ 防火戸 [5.1.4] ・ 指定する 適用箇所( 建具表による ) ・ 指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・ 連動させる( 建具表による ) ・ 連動させない ・ 見本の製作等 [5.1.5] 建具見本の製作 ・ 行う(建具符号: ) ・ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う(建具符号: ) ・ 行わない ・ 防犯建物部品 [5.1.7] ・ 適用する( 建具表による ) ・ 適用しない

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
○	アルミニウム製 製建具	性能値等 耐風圧性の等級 ( ○ S-5 ) ( 建具符号 ○ 建具表による ) 気密性の等級 ( ○ A-3 ) ( 建具符号 ○ 建具表による ) 水密性の等級 ( ○ H-4 ) ( 建具符号 ○ 建具表による ) 外部に面する建具の種類 ・ A種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) ○ B種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) ・ C種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) 枠の見込み寸法 ( ○ 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ○ BB-1 ・ BB-2 ( 改修標準仕様書表 5. 2. 2 ) 着色 ○ 標準色 ・ 特注色 屋内の建具 種類 ○ BC-1 ・ BC-2 ( 改修標準仕様書表 5. 2. 2 ) 着色 ○ 標準色 ・ 特注色 結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ・ 排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による	[ 5. 2. 2~5 ]	鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する ( 建具符号： ・ 建具表による ) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 点検口 ・ 形状及び仕上げ 鋼板の種類 ※ 改修標準仕様書表 5. 4. 2 による ・ mm 使用箇所 ( ) 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による	[ 5. 4. 2~6 ]	木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 [ 5. 7. 2~4 ] ・ ・ ・ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修標準仕様書 5. 7. 2 ( 2 ) ( イ ) ( a ) による ・ 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・ 普通合板 表面の樹種 ・ 板面の品質 ( ※ 広葉樹 1 等 ) 接着の程度 ( ・ 1 類 ・ 2 類 ) ・ 天然木化粧合板 樹種名 ( ) 接着の程度 ( ・ 1 類 ・ 2 類 ) ・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ※ プリント ・ 接着の程度 ( ・ 1 類 ・ 2 類 ) ・ MDF 表面の状態による区分 ( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 耐水性による区分 ( ) 難燃性による区分 ( ) 表面板の厚さ ※ 表 5. 7. 6 による ・ かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による ・ ふすま 扉の種類 ( ・ Ⅰ 型 ・ Ⅱ 型 ) 上張り ( 押入等の裏側以外 ) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はゼニル紙程度 縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 ( 素地 ) ・ 生地縁 ( ウレタンクリヤー塗装 ) 見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による ・ 戸ぶすま 表面板の仕上 ・ 建具表による 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による 定規縁 ( 引戸 ) の召合せかまち ・ いんろう付き	[ 5. 7. 2~4 ]	自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 [ 5. 9. 2 ] ・ 建具表による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5. 9. 1 による ( 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ) ・ 以下による 種類・開閉方式 ( ) 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 ( サイクル ) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( ) ・ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5. 9. 2 による ( 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ) ・ 以下による 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 ( サイクル ) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( ) ・ 引き戸用換出装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5. 9. 3 による ( 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ) ・ 以下による 放射無線周波数電磁界耐性 ( ) 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 防滴 ( ) 電源 ( ) 引き戸換出装置の種類は改修標準仕様書表 5. 9. 4 により、適用箇所は建具表による タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・ 大型押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない	
	・ 網戸等	[ 5. 2. 3 ] [ 5. 3. 3 ] 種類 材質 線径 網目 ・ 防虫網 ※ 合成樹脂製 ※ 0. 25mm 以上 ※ 16~18メッシュ ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス ( SUS316 ) 製 ・ 防鳥網 ステンレス ( SUS304 ) 線材 1.5mm 網目寸法 15mm		鋼製軽量建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する ( 建具符号： ・ 建具表による ) ・ 適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 材料 鋼板 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合せ、縦小口包み板の性質 ※ 鋼板 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 防音充填剤 ・ 適用する ( 充填材：ガラスウール又はロックウール ) ・ 適用しない 形状及び仕上げ 鋼板の種類 ※ 改修標準仕様書表 5. 5. 1 による ・ mm 使用箇所 ( ) 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※ 建具表による	[ 5. 5. 2~6 ]	○ 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 [ 5. 8. 2~3 ] ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 1 により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 2 による ・ 建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 3 による ・ 建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 4 による ・ 建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 改修標準仕様書表 5. 8. 5 による ・ 建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による	[ 5. 8. 2~3 ]	・ 自閉式上吊り引戸 装置	性能値等 [ 5. 10. 3 ] ※ 改修標準仕様書表 5. 10. 1 による ・ 以下による 手動開き力 ( ) 手動閉じ力 ( ) 閉じ速度の調整 ( ) 制動区間 ( ) 開閉繰返し ( ) 耐衝撃性 ( )	
・ 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性の等級 ( ・ ) 気密性の等級 ( ・ ) 水密性の等級 ( ・ ) 外部に面する建具の種類 ・ A種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) ・ B種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) ・ C種 ( 建具符号 ・ 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ・ T-1 ・ T-2 ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ 枠の見込み寸法 ・ 建具表による 材料 ガラス ※ 複層ガラス ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による	[ 5. 3. 2~5 ]	ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する ( 建具符号： ・ 建具表による ) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ・ ) ( 建具符号： ・ 建具表による ) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	[ 5. 6. 2~5 ]	○ 鍵	マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない ○ 既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※ 各室 3 本 1 組 ( 室名札付き ) ○ 4 本 1 組 ( 室名札付き ) 鍵箱 ○ なし ・ あり	[ 5. 8. 4 ]	・ 重量シャッター	シャッターの種類 [ 5. 11. 2 ] ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防護シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa 開閉方式の種類 ※ 電動式 ( 手動併用 ) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 設置箇所 ( ・ 図示 ・ ) 電動式シャッターの障害物感知装置 設置箇所 ( ・ 図示 ・ ) 屋内用防火シャッター若しくは防護シャッターの危害防止装置 ( ※ 危害防止装置・既設シャッターに改修により取り付け可能な可動座板式 ) 設置箇所 ( ・ 図示 ・ ) 管理用シャッターのシャッターケース ○ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 ( 溶融亜鉛めっき鋼板 ) ・ JIS G 3312 ( 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ) めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ ・ 軽量シャッター	[ 5. 11. 2 ]	閉閉方式の種類 [ 5. 12. 2~4 ] ※ 手動式 ・ 上部電動式 ( 手動併用 ) 耐風圧強度 ( ) Pa 安全装置 ・ 電動シャッターの急降下停止装置 設置箇所 ( ・ 建具表による ) ※ 電動シャッターの障害物感知装置 設置箇所 ( ・ 図示 ・ ) スラットの材質 ・ JIS G 3312 ( 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ) めっきの付着量 ( ※ Z06又はF06 ) ・ JIS G 3322 ( 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ) めっきの付着量 ( ※ AZ90 ) スラットの形状 ・ インターロック型 ・ オーバーラッピング型
工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事												
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-4												
 <span>福山市建設局建築部営繕課 設計 2026年 5月</span>										縮尺率 A1=100% A2=71% A3=50%	図面No 4 18	

章	項目	特記事項
①	オーバーヘッドドア	[ 5.13.2、3 ] セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧性能の区分 ・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 開閉方式による区分 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 ガイドレールの材質 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 設置箇所 ( ・ 図示 )
	ガラス	[ 3.7 ] [ 5.14.2~4 ] フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による 型板ガラスの厚さによる種類 ・ 建具表による 網入り板ガラス及び網入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ、特性による種類 ・ 建具表による 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類 ・ 建具表による 熱線吸収ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ・ 建具表による 複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び封入気体の種類 ・ 建具表による 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射遮蔽性による種類 ・ 建具表による 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) ※ シーリング材 ・ グレイジングガスケット ・ 図示による 鋼製及び鋼製軽量 ・ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による ステンレス製 ・ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による 樹脂製 ・ グレイジングガスケット ※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による 小口加工の仕上げの程度 ( )
	ガラスブロック	[ 5.14.5 ] 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地幅 (mm) 平積み 曲面積み 伸縮調整 目地の位置 防火性能 ・ 160×160 ・ 95 ・ 200×200 ・ 95
	壁用金属枠及び補強材・形状	力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径 5.5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 化靨目地モルタルの色 ( ・ 白 ・ グレー ) シーリングの種類 ( ・ SR-1 ・ PS-1 ) 金属製化靨カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ・ 図示による 形状 ・ 図示による 目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による

章	項目	特記事項
②	改修範囲	[ 6.1.3 ] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示による
	既存床の撤去及び下地補修	[ 6.2.2 ] ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上げのみ (接着剤とも) 2~4階分 ・ 下地モルタルとも ( ・ 図示による ・ 撤去範囲全て ) 合成樹脂塗材の除去工法 ○ 機械的除去工法 ○ 自置工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示による
	既存壁の撤去及び下地補修	[ 6.3.2 ] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修標準仕様書 4.3.10 によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示による)
	表面仕上げ (木下地)	[ 6.5.1 ] 見え掛り面の表面仕上げ ※ プレーナー加工 (施工箇所: ) ・ 超自動機械かん (施工箇所: ) ・ サンダー (施工箇所: )
	施工一般 (木下地)	[ 6.5.2 ] 材料のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆は改修標準仕様書 6.5.2 (1) (ウ) (b) による
	製材 (木下地)	[ 6.5.2 ] JAS 1083-5に基づく下地用製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 事務・休憩室 90×90 ※ 2級 ※ A種 40×50 ・ B種 見え掛り面以外 ※ 小節以上 ※ A種 ・ B種 JAS 1083-2に基づく造作用製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 見え掛り面 ※ 上小節 ※ A種 ・ B種 見え掛り面以外 ※ 小節以上 ※ A種 ・ B種 JAS 1083-6に基づく広葉樹製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※ 1等 ※ 10%以下 ・ A種 ・ B種 JAS 1083 (製材) 以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 含水率 防虫処理 ( ) ※ A種 造作材の場合 ( ※ A種 ・ B種 ) ・ 行う ・ 行わない
	造作用集成材 (木下地)	[ 6.5.2 ] JAS 1152に基づく造作用集成材 (品名) 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面の (面数) 見付け材面の品質 事務・休憩室 造作用集成材 (塗装) 1等 ※ 1等 造作用集成材 ( ) 1等 ・ 2等 JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の (面数) 見付け材面の品質 化粧薄板: ※ 1等 芯材: ・ 2等 JAS 1152以外の造作用集成材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※ 15%以下 JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板: ※ 15%以下 芯材: ・
	造作用単板積層材 (木下地)	[ 6.5.2 ] JAS 0701に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 防虫処理 造作用単板積層材 (未仕上げ) ・ 有り ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工 ・ 無し ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等 JAS 0701以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 含水率 防虫処理 ・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級 ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) JAS 3079に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 (曲げ性能) 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) 異等級構成直交集成板 同一等級構成直交集成板 ・ A ・ B ・ C JAS 0233に基づく普通合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 板面の品質 単板の樹種名 防虫処理 ※ 5.5 ※ 1類 広葉樹 ※ 2等以上 ・ 1等 ・ 2類 針葉樹 ※ C-D以上 ・ 行う ・ 行わない JAS 0233に基づく構造用合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 板面の品質 単板の樹種名 保存処理 防虫処理 強度等級 ※ 12 (下記) ※ 2級以上 ※ C-D以上 ・ 行う ・ 行わない ( ) 指定しない 接着の程度 常時湿潤状態となる場所での使用 ※ 特類 その他の場合 ※ 1類以上 JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 常時湿潤状態となる場所での使用 ・ 行う する場合、特類 その他の場合 ( ・ 特類 ・ 1類 ・ ) JAS 0233に基づく天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 ・ 1類 ・ 2類 JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 (品名) 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・ オーバーレイ ・ 行う ・ プリント ・ 行わない ・ 塗装 JIS A 5908に基づくパーティクルボード 施工箇所 種類 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 厚さ (mm) ※ 13タイプ ・ Mタイプ ・ Pタイプ JAS 0360に基づく構造用パネル (品名) 施工箇所 厚さ (mm) JIS A 5905に基づく MDF 施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分

章	項目	特記事項
③	接合具等 (木下地)	[ 6.5.3 ] 造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし隠し釘打ち ・ 釘頭埋し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ※ 改修標準仕様書 6.5.3 に示す程度の市販品 ・ 産金 ※ 改修標準仕様書 6.5.4 に示す程度の市販品 ・ 箱金物及び短冊金物 ※ 改修標準仕様書 6.5.5 に示す程度の市販品 ・ 接着剤 (木下地) 接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ ・ 防蟻・防蟻処理 (木下地) 工場における薬剤の加圧注入等 改修標準仕様書 6.5.5 (1) (a) ①による加圧注入 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 大引・束根太 ※ 薬剤の製造所の仕様による ・ JIS K 15711に適合する表面処理用木材保存剤又は同等品 ・ ・ 薬剤の接着材への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位 ( ) 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ( ) 防虫処理の適用 適用部位 ( ) 不燃処理木材等 (木下地) 不燃材料処理木材等の適用 不燃材料 適用部位 ( ) 準不燃材料 適用部位 ( ) 難燃材料 適用部位 ( ) 内部間仕切軸組及び床組 (木下地) 間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松 ・ 床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松 窓、出入口その他 (木下地) 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 吊元幹、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ・ 床板張り (木下地) 縁甲板及び上がりがまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ ひのき ・ ブナ 壁及び天井下地 (木下地) 壁及び天井下地に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉または松 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋外 ※ 25形 ・ 19形 屋内 ※ 19形 ・ 25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示による 周辺部の幅からの間隔 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ※ 屋内の場合、当該階において3箇所 かし所) (確認強度 ※ 吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m <sup>2</sup> 以内の天井の場合は400N程度 N) ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※ 図示による ) ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 (補強方法 ※ 図示による ) ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による ) (補強方法 ※ 図示による ) ・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による ) (補強方法 ※ 図示による )
	工率名称	福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事
	図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-5
	縮尺率	図面No
	A1=100%	5 18
	A2= 71%	
	A3= 50%	
	設計	福山市建設局建築部営繕課 2026年 5月

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
1	軽鉄骨壁下地	スタッド、ランナの種類 ※ 改修標準仕様書表 6.7.1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による ・ スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書 6.7.4 (5) による ・	2	タイルカーペット	タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 横線流し ・ 階段部分 ※ 横線流し ・ 市松敷き ・ 下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm ・ 見切り、押え金物 材質 ( ) 種類 ( ) 形状等 ※ 図示による	3	せっこうボード、その他ボード、及び合板張り	せっこうボード、その他ボード 規格名称 種類 厚さ(mm)等 木質系 セメント板 繊維強化セメント板 火山性ガラス質複層板 (VSボード) 繊維板 パーティクルボード 吸音材料 せっこうボード製品 MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 表面への化粧張り等の加工 ※ 図示による 合板 合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標準仕様書 6.13.2 (3) (イ) の (a) ~ (d) のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合 ※ 図示による 合板類の張付け せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※ 仕上表による 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 ○ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 壁紙の種類 施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備考 事務・休憩室 パン置場 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ モルタル及び石膏一面の素地ごしらえの種類 ※ B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※ B種 ・ A種 せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※ B種 ・ A種	4	モルタル塗り	モルタル ○ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 ( ) 形状 ( ※ 図示による ) ○ 設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ・ 床の目地 ・ 設ける 目地割り ※ 2㎡程度 (最大目地間隔 ※ 3m程度) ・ 目地の種類 ※ 押し目地 ・ ○ 設けない 伸縮目地の位置 床タイル ( ※ 縦、横とも4m以内ごと ) 図示による ) 床タイル以外 ( ) 見本焼き ・ 行う (施工箇所: ) ・ 行わない 試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状/寸法 (mm) 再生材料の適用 吸水率による区分 I類 II類 III類 うわぐすり 施す方 無ゆわ 有 無 標準 特注 有 無 耐摩耗性 耐汚 備考 調理室 97.8 下洗室 97.8 機収室 97.8 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 既調合モルタル (品質・性能、試験方法は別表による) モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、 混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 既調合目地材 (品質・性能、試験方法は別表による) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の下地調整の方法 ・ ( ) 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状/寸法 (mm) 再生材料の適用 吸水率による区分 I類 II類 III類 うわぐすり 施す方 無ゆわ 有 無 標準 特注 有 無 耐摩耗性 耐汚 備考 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 厚さ (mm) セルフレベリング材塗り
	ビニル床シート	材料 種類の記号 色柄 厚さ (mm) 備考 ※ FS ・ 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆		合成樹脂塗床 塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ○ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材 ○ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材 フロ어링のホルムアルデヒドの放散量等 ※ 改修標準仕様書 6.11.2 (2) による 単層フロ어링 種類 工法 樹種 厚さ、幅、長さ ・ フロ어링 ボード1等 ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ ※ 改修標準仕様書表 6.11.1 による ・ 釘留め工法 (直張り) ・ ※ 改修標準仕様書表 6.11.3 による ・ 接着工法 ・ ※ 改修標準仕様書表 6.11.5 による ・ フロ어링 ブロック1等 ・ 接着工法 ・ 厚さ ( ) 、幅 ( ) 長さ ( ) 複合フロ어링 種類 工法 樹種 厚さ、幅、長さ ・ 複合フロ어링 (天然木化粧) ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ ※ 改修標準仕様書表 6.11.2 による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 釘留め工法 (直張り) ・ なら ※ 改修標準仕様書表 6.11.4 による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 接着工法 ・ ※ 改修標準仕様書表 6.11.6 による ・ A種 ・ B種 ・ C種 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着工法の場合の不陸緩和材 ※ 合成樹脂発泡シート 現場塗床仕上げ ※ 改修標準仕様書表 6.11.6 による	せっこうボード、その他ボード、及び合板張り		モルタル塗り				
ビニル床タイル	種類の記号 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考 ※ KT (20' シリコン床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	成成樹脂塗床	せっこうボード、その他ボード、及び合板張り	モルタル塗り							
特殊機能床材	シート・タイルの種類 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 帯電防止床シート ・ 帯電防止床タイル ・ 視覚障害者用の床タイル ・ 耐動荷重性床シート ・ 防滑性床シート ・ 防滑性床タイル	フロ어링張り	せっこうボード、その他ボード、及び合板張り	モルタル塗り							
ビニル幅木	材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 ・ 床ノリ巻上 高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) ※ 1.5以上	フロ어링張り	せっこうボード、その他ボード、及び合板張り	モルタル塗り							
ゴム床タイル	種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄 ( ) 厚さ ( mm) 寸法 (mm) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	フロ어링張り	せっこうボード、その他ボード、及び合板張り	モルタル塗り							
接着剤	接着剤の主成分による区分と施工箇所 ビニル床シート及びビニル床タイル ※ 改修標準仕様書表 6.8.1 による 施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合 施工箇所 ( ) 主成分による区分 ( ) ゴム床タイル ※ 改修標準仕様書表 6.8.2 による 施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合 施工箇所 ( ) 主成分による区分 ( )	接着剤	せっこうボード、その他ボード、及び合板張り	モルタル塗り							
カーペット敷き	織じゅうたん 織り方 バイル形状 帯電性 ・ ウィルトンカーペット ・ フェイストウフェイスカーペット ・ アキスミンスターカーペット 色柄 ※ 模様のない無地 無地の織りじゅうたんの種類 (バイル糸の種類等) ・ A種 ・ B種 ・ C種 織じゅうたんの接合方法 ※ ヒートボンド工法 ・ つづり織い ・ タフテッドカーペット バイル形状 バイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考 ・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用 タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	畳敷き	せっこうボード、その他ボード、及び合板張り	モルタル塗り							

工事名称  
福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事

図面名称  
建築改修工事特記仕様書 No-6

縮尺率 図面No  
A1=100%  
A2=71%  
A3=50% 6/18

2026年 5月

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
③	埋戻し及び盛土	材料及び工法 標準仕様書 表 3. 2. 1による A種 土工箇所 ( ) B種 土工箇所 ( ) C種 土工箇所 ( ) 土質 ( ) 変遷場所 ( ) D種 土工箇所 ( )	4	橋手 杭の橋手の工法 溶接橋手 溶接材料 標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2) による 機械式橋手 杭頭の処理等 処理する 処理しない (4. 3. 8)(4. 4. 6) 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) 図示による	(4. 4. 3)(4. 4. 5)(7. 2. 5)	⑤	地盤改良 (深層混合処理工法)	固化工材の配合量及び水固化工材比を決定するための対象とする地層 図示による 室内配合試験における一軸圧縮試験の供試体数 図示による 特殊な地盤等での試験施工 図示による 改良工事完了後の試験 一軸圧縮試験の検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 図示による 六価クロム溶出試験 適用する 適用しない	⑥	溶接接手	施工完了後の橋手部の試験 (5. 5. 5) 外観試験 試験項目及び合格判定 標準仕様書 表 5. 5. 1～表 5. 5. 3による 図示による 外観試験で不合格となった場合の措置 (5. 5. 6) 標準仕様書 5. 5. 6 (1) による 図示による 超音波測定試験 試験対象 図示による 超音波測定試験で不合格となった場合の措置 (5. 5. 6) 図示による
		○ 建設発生土の処理									
④	試験及び報告書等	直接基礎 (4. 2. 1) 支持地盤の位置及び土質 (基礎底部の位置含む) 図示による 試験掘り (根切り底の状態の確認等) 行う 行わない 位置等 図示による 杭基礎 (4. 2. 2)(4. 3. 4)(4. 3. 5)(4. 5. 5)(4. 5. 6) 支持層の位置及び土質 (杭先端の位置含む) 図示による 試験杭の位置、本数及び寸法 図示による 杭の載荷試験 (4. 2. 3) 適用する 適用しない 載荷試験の方法 鉛直載荷試験 地盤工学会基準JGS ( ) による 水平載荷試験 地盤工学会基準JGS1831による 載荷試験の試験杭の位置、本数及び載荷荷重 図示による 報告書の記載事項 地盤の載荷試験 (4. 2. 4) 適用する 適用しない 載荷試験の方法 平板載荷試験 地盤工学会基準JGS15211による 載荷試験の位置、載荷荷重 図示による 報告書の記載事項 既製コンクリート杭地盤 (4. 3. 3) 材料 杭の種類 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) 外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC杭) SC杭の鋼管材料 SKK400 SKK490 杭の性能及び曲げ強度等による区分等 図示による 杭の寸法、橋手の箇所数等 図示による 杭先端部形状 (4. 3. 3) 開放形 半開放形 閉そく形 工法 セメントミルク工法 (4. 3. 1)(4. 3. 4) 掘削深さ 図示による 杭の支持層への根入れ長さ 図示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 杭径の1/4かつ100mm以下 根間め及び杭間固定液の管理試験 標準仕様書 4. 3. 4 (6) (コ) による 特定埋込杭工法 (4. 3. 1)(4. 3. 5) プレローリング拡大根間め工法 中掘り拡大根間め工法 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうち、α、β、γが以下の値を採用できる工法 α= ( )、β= ( )、γ= ( ) 橋手 (4. 3. 3)(4. 3. 6)(7. 2. 5) 杭の橋手の工法 溶接橋手 溶接材料 標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2) による 機械式橋手 杭頭の処理 (4. 3. 8) 処理する 処理しない 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) 図示による 鋼杭地盤 (4. 4. 3) 材料 鋼杭の材料 図示による 工法 特定埋込杭工法 (4. 3. 5)(4. 4. 4) 中掘り拡大根間め工法 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 α= ( )、β= ( )、γ= ( )	⑤	場所打ちコンクリート杭地盤 (4. 5. 4) 鉄筋の種類 (4. 5. 4)(5. 2. 1) 種類の記号 呼び径 (mm) 備考 SD295 SD345 帯筋の加工及び組立 (4. 5. 4) 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ (4. 5. 4) 100mm 鉄筋かごの補強 (4. 5. 4) 図示による 組み立てた鉄筋の節ごとの橋手 (4. 5. 4)(5. 3. 4) 重ね橋手 重ね橋手の長さ 標準仕様書 表 5. 3. 2による 主筋の基礎底面への定着長さ (4. 5. 4)(5. 3. 4) 図示による セメントの種類 (4. 5. 4) 高炉セメントB種 コンクリートの設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) (4. 5. 4) 図示による コンクリートの種別 (4. 5. 4)(表 4. 5. 1) A種 B種 評定等の内容による スランブ (4. 5. 4) 21cm 18cm ( ) cm 構造体強度補正值 (S) (4. 5. 4) 3N/mm <sup>2</sup> 図示による 評定等の内容による 鋼材部分の材料 図示による 工法 (4. 5. 1) (4. 5. 4～4. 5. 6) アースドリル工法 リバース工法 オールケーシング工法 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 SKK400 SKK490 掘削工法 杭の支持層への根入れ長さ 図示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 杭径の1/4かつ100mm以下 孔壁の確認 (超音波測定器による) 行う 測定箇所 試験杭 ( ) 箇所、本杭 ( ) 箇所 砂利地盤 (4. 6. 2) 材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 (4. 6. 3) 砂利地盤の厚さ (4. 6. 3) 60mm 50mm 範囲 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下 図示による 砂地盤 (4. 6. 2) 材料 シルト 山砂 川砂 砕砂 (4. 6. 3) 砂地盤の厚さ (4. 6. 3) 60mm 範囲 図示による 捨コンクリート地盤 (4. 6. 4) 捨コンクリートの厚さ (4. 6. 4) 50mm 範囲 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 図示による コンクリートの種別 (4. 6. 4)(6. 14. 1) 普通コンクリート 標準仕様書 表 6. 2. 1以外のコンクリートを用いる場合 (4. 6. 4)(6. 14. 1) 図示による 設計基準強度 (4. 6. 4)(6. 14. 1) 18N/mm <sup>2</sup> スランブ (4. 6. 4)(6. 14. 1) 15cm又は18cm 防湿層 (4. 6. 5) 適用する 材料 (4. 6. 2) ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 範囲 (4. 6. 5) 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) 図示による 地盤改良 (深層混合処理工法) (4. 7. 2) 固化工材の種類 セメント固化工材 (4. 7. 3) 工法 方式 機械攪拌方式 改良体の設計基準強度 (F <sub>c</sub> )、改良体長さ、改良率、改良体幅 図示による	⑥	鉄筋 鉄筋の種類 (5. 2. 1) 種類の記号 呼び径 (mm) 備考 SD295 D16以下 SD345 D19以上 溶接金網 (5. 2. 2) 鉄線の形状等 (5. 2. 2) 種類 種類の記号 鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 溶接金網 WFC 格子 Φ6×150×150 スロープ 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (5. 3. 2) 鉄筋の折曲げ角度が90°未満の折曲げ内法直径 (D) ( ) 以上 鉄筋の橋手の方法等 (5. 3. 4) 部位 橋手の方法 呼び径 (mm) 柱及び梁主筋 ガス圧接 機械式橋手 溶接橋手 重ね橋手 耐力壁の鉄筋 重ね橋手 基礎、前任スラブ、土圧壁 重ね橋手 ガス圧接 上記以外 (スロープ) 重ね橋手 10 橋手位置 (5. 3. 4) 図示による 柱及び梁主筋の重ね橋手の長さ (5. 3. 4) 図示による 耐力壁の重ね橋手の長さ (5. 3. 4) 標準仕様書 5. 3. 4 (3) (ア) による 図示による 先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う橋手を両箇所に出せる場合 図示による 鉄筋の定着長さ (5. 3. 4) 標準仕様書 表 5. 3. 4による 図示による 標準仕様書 5. 3. 4 (5) (イ) の場合の折曲げ寸法による方法 標準仕様書 5. 3. 3 により 5. 3. 4 (5) (イ) を全て満足する 機械式定着工法 (5. 3. 4) 適用する 適用しない 適用箇所 図示による 種類 図示による 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) (5. 3. 5) 最小かぶり厚さ (自底から算出を行う) 標準仕様書 表 5. 3. 6 による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 有り 適用箇所 ( ) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートの適用の有無 有り 適用箇所 ( ) 最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm 耐久性上不利な箇所の有無 (塩害等を受けるおそれのある部分等) 有り 適用箇所 ( ) 最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm 各部配筋 (5. 3. 7) 各部配筋 図示による 床・377・壁壁 D10@200 圧接完了後の圧接部の試験 (5. 4. 10)(5. 4. 11) 抜取試験 超音波探傷試験 標準仕様書 5. 4. 10 (イ) (a) による 引張試験 試験方法等 図示による 機械式接手 (5. 5. 3) 適用箇所 図示による 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 A級 機械式橋手の種類 図示による 鉄筋相互のあき (5. 5. 3) 評定等の内容による 図示による	⑦	コンクリートの種類 (6. 2. 1)(表 6. 2. 1) I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6. 2. 1～6. 2. 2)(表 6. 2. 2) 設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> ) スランブ (cm) 適用箇所 21 ※ 15又は18 スロープ 21 ※ 18 軽量コンクリート (6. 2. 1)(6. 10. 2) 建築基準法第37条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6. 2. 1) 適用箇所 ( ) 合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ (6. 2. 5)(表 6. 2. 4) 種類 適用箇所 A種 図示による B種 図示による C種 図示による コンクリートの仕上げの平たんさ (6. 2. 5)(表 6. 2. 5) 種類 適用箇所 a種 図示による b種 図示による c種 図示による セメント (6. 3. 1) 種類 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 ( ※ 下記以外全て ) 高炉セメントB種 適用箇所 ( ) フライアッシュセメントB種 適用箇所 ( ) 普通エコセメント 適用箇所 ( ) 骨材 (6. 3. 1) フェロニッケルスラグ骨材、鋼スラグ骨材及び電気炉化スラグ骨材 (6. 3. 1) 適用する 適用箇所 ( ) 適用しない 再生骨材 H (普通エコセメントを使用するコンクリート) (6. 3. 1) 適用する 適用箇所 ( ) 適用しない アルカリシリカ反応性による区分 (6. 3. 1) ※ A B 混和材料 (6. 3. 1) 混和材料の適用及び種類 混和剤 (6. 3. 1) 混和剤の種類 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (a) による 混和材 (6. 3. 1) 混和材の種類 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (b) による 標準仕様書 6. 3. 2 (イ) (イ) の①～③以外の混和材料 使用方法及び使用量 ※ 監督職員の承認による (6. 3. 2) コンクリートの調合 (6. 3. 2) 調合管理強度 構造体強度補正值 (S) 標準仕様書 表 6. 3. 2 による 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6. 6. 4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※ スパンの中央又は端から1/4の付近 図示による 柱及び壁 ※ スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示による 目地の寸法 (6. 6. 4)(6. 8. 1)(9. 7. 3) 標準仕様書 9. 7. 3 (1) (ア) による 図示による ひび割れ誘発目地の位置、形状 図示による			
		○ 建設発生土の処理							処理 (3. 2. 5) 構外搬出 (搬出先: 産廃契約委託先) 構内指定場所に堆積 ○構内指定場所に敷均し		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>工事名称 <b>福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事</b></p> <p>図面名称 <b>建築工事特記仕様書 No-1</b></p> </div> <div style="width: 20%; text-align: center;"> <p>福山市建設局建築部営繕課</p> <p>設計 2026年 5月</p> </div> <div style="width: 15%; text-align: center;"> <p>縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%</p> </div> <div style="width: 15%; text-align: center;"> <p>図面No <b>7</b> 18</p> </div> </div>											

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
⑥	打増し厚さ (打放し仕上げ部)	打増し厚さ (6.8.1) ・ 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm 打増し範囲 ・ 図示による	⑦	高力ボルト	形状および寸法 (7.2.1) ・ 図示による 板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 (7.2.10) ・ 行う (適用箇所) ・ 行わない 高力ボルトの種類 (7.2.2) ・ トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト ボルトの寸法 (7.2.2) ねじの呼び ・ 図示による ボルトの繰進距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示による 摩擦面の性能及び処理 (7.4.2) ・ すべり試験 試験の方法等 ・ 図示による 溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法 (7.12.5) ※ 標準仕様書 7.12.5 (1) (ア)、(イ)による JIS形高力ボルトの締付け (本締め) (7.4.7) ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・ 図示による ボルト及びナットの種類 (7.2.3) ※ 標準仕様書表 7.2.3による ボルトの形状及び寸法 (7.2.3) ねじの呼び ・ 図示による ボルトの繰進距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示による 母屋又は副棟の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8) ※ ねじの呼び径+1.0mm 種類 (7.2.4) ・ 構造用アンカーボルト ・ ABR400 ・ ABR490 ・ 建方用アンカーボルト ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 (7.3.2) ※ 標準仕様書表 7.2.3による ボルトの繰進距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示による 溶接材料 (7.2.5) ※ 標準仕様書 7.2.5 (1)、(2)による ・ 図示による ターンバックル (7.2.6) 種類 建築用ターンバックルボルト ※ 羽子板ボルト 建築用ターンバックル胴 ※ 割棒式 ねじの呼び等 ・ 図示による 床構造用デッキプレート (7.2.7) 材質、形状及び寸法 ・ デッキプレート単独の構法 ・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8) ・ 図示による 種類等 (7.2.8) 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22 調合等 (7.2.9)(表 7.2.5) ・ 標準仕様書 7.2.9 (1) によるモルタル ・ 無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 ※ 標準仕様書 7.2.9 (2) による 鉄骨の仮組 (7.3.10) 仮組の実施 ・ する 仮組を行う範囲 ・ 図示による 溶接作業を行う技能資格者 (7.6.3) 技量付加試験 ・ 行う ・ 行わない 試験の要領 ・ 図示による 溶接接合 (7.6.4) 関係の形状 ・ 図示による 鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 (7.6.7) ・ 図示による 切断面の仕上げ (7.6.7) ※ 標準仕様書 7.6.7 (1) (カ) (b) ②による 低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7) ・ 図示による スカラップの形状 (7.6.7) ・ 図示による 溶接部の試験 (7.6.12) 溶接部の外観試験 平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験 試験の方法等 「実合せ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル (鉄骨製作管理技術者登録機構)」 3.5.2 受入検査による。 ※ 抜き取り検査② ・ 抜き取り検査①	⑧	完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12) ・ 適用しない 工場溶接の場合 AQL (%) ※ レベル II ・ レベル I 検査水準 ※ 第 6 水準	⑨	押出成形セメント板 (ECP)	パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.2) ・ 図示による 外壁パネル構法 (8.4.3) 耐風圧性能 ( ) 耐震性能 ( ) パネル幅 ・ 300mm未満 (・ 図示による) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 ※ 10~20mm ・ 図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する ・ 適用しない 間仕切壁パネル構法 (8.4.3)(8.4.4) 耐風圧性能 ( ) 耐震性能 ( ) パネル幅 ・ 300mm未満 (・ 図示による) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 ※ 10~20mm ・ 図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する ・ 適用しない 屋根及び床パネル構法 (8.4.3)(8.4.5) 耐風圧性能 ( ) 耐震性能 ( ) パネル幅 ・ 300mm未満 (・ 図示による) 材料、工法 (8.5.2~8.5.4)(表 8.5.1)(表 8.5.2) パネルの種類 形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法の種別 備考 外壁パネル ・ F (フラットパネル) ・ 50 ・ 60 ・ D (デザインパネル) ・ 50 ・ 60 ・ T (タイルベースパネル) 60 間仕切壁パネル ・ F (フラットパネル) ・ 50 ・ 60 ・ D (デザインパネル) ・ 50 ・ 60 ・ T (タイルベースパネル) 60 外壁パネル工法 (8.5.3) 耐風圧性能 ( ) 耐震性能 ( ) 間仕切壁パネル構法 (8.5.4) 耐風圧性能 ( ) 耐震性能 ( ) 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 (8.5.3)(8.5.4) ※ パネルの製造所の仕様による パネル幅の最小限度 (8.5.3)(8.5.4) ・ 300mm未満 (・ 図示による) パネルの相互の目地幅 (8.5.3)(8.5.4) 900mm以下の場合 900mmを超える場合 長辺の目地幅 ※ 10mm以上 ※ 15mm以上 短辺の目地幅 ※ 15mm以上 ※ 15mm以上 出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅 (8.5.3)(8.5.4) ※ 15mm程度 (シーリング材を充填) ・ 図示による 溝幅及び開口部の措置 (8.5.5) やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度 ・ 図示による 屋根保護防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.3~表 9.2.6) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 絶縁用シート ・ A-1 ・ A-2 ※ ポリエチレンフィルム厚さ 0.15mm以上又はフラットヤー ンクス70g/m2程度 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ A1-1 (厚さ) ※ フラットヤーノクス70g/m2 程度 ・ A1-2 ・ A1-3 ・ B1-1 ・ B1-2 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標準仕様書表 9.2.3 及び表 9.2.4 による ・ JIS A 6013I に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標準仕様書表 9.2.5 及び表 9.2.6 による ・ JIS A 6013I に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 押入金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表 9.2.4)(表 9.2.6) ・ 適用する ・ 適用しない 屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.7)(表 9.2.8) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 種類 使用量 ・ D-1 ※ 製造所の仕様による ・ D-2 ・ D1-1 種類 ・ D1-2 厚さ mm 工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事 図面名称 建築工事特記仕様書 No-2 縮尺率 図面No A1=100% A2=71% A3=50% 8 18 設計 2026年 5月	

19 内装工事	項目	特記事項			
		見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等） ・ 適用しない ・ 図示による ・ ) タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し 階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き			
		合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ (19.4.2)			
		種類 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1~表19.4.8)			
		種類	工法	仕上げの種類	施工箇所
		・ 厚膜型塗床材 (弾性ウレタン樹脂系塗床材)		※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ	
		・ 厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)	・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ	
		・ 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)		※ 平滑仕上げ	
		フロアリング張り			
		フロアリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書19.5.2(2)による (19.5.2)			
		単層フロアリング (19.5.2~19.5.5)			
		種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ
		・ フロアリングボード1等	・ 釘留め工法 (根本張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法	・ ※ 標準仕様書 表19.5.1による ・ ※ 標準仕様書 表19.5.3による	・ ※ 標準仕様書 表19.5.1による ・ ※ 標準仕様書 表19.5.3による
		・ フロアリングブロック1等	・ 接着工法	・ ※ 標準仕様書 表19.5.5による	・ ※ 標準仕様書 表19.5.5による
		複合フロアリング (19.5.2~19.5.5)			
		種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ
		・ 複合フロアリング (天然木化粧)	・ 釘留め工法 (根本張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法	・ ※ 標準仕様書 表19.5.2による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ ※ 標準仕様書 表19.5.4による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ ※ 標準仕様書 表19.5.6による ・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ※ 標準仕様書 表19.5.2による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ ※ 標準仕様書 表19.5.4による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ ※ 標準仕様書 表19.5.6による ・ A種 ・ B種 ・ C種
		接着工法の場合の不陸緩和材 (19.5.5) ※ 合成樹脂発泡シート			
		畳敷き			
種類 (19.6.2)(表19.6.1)					
・ A種 (畳表: ・ JS ・ J1) ・ B種 ・ C種 (畳床: ・ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30) ・ D種 (畳床: ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)					
衝撃緩和型畳 畳表 (JIS A5902) ・ C1 ・ C2					
せっこうボード、その他ボード及び合板張り					
材料 (19.7.2)(表19.7.1)					
規格名称					
木質系セメント板					
・ 硬質木毛セメント板 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 中質木毛セメント板 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 普通木毛セメント板 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 硬質木片セメント板 ・ 12 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 普通木片セメント板 ・ 30					
繊維強化セメント板					
・ けい酸カルシウム板 タイプ2 (無石棉) ・ 6 ・ 8					
火山性ガラス質複層板 (VSボード)					
・ 火山性ガラス質複層板 ・ 図示による					
繊維板					
・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ ハードボード (素地) ・ 無研磨板 ( ・ スタンダード ・ テンバード) ・ 研磨板 ( ・ スタンダード ・ テンバード) ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ ハードボード (化粧) ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード A級 ( ・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 単板張りパーティクルボード ・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10 ・ 12					
パーティクルボード					
・ ロックウール化粧吸音板 ・ フラットタイプ ( ・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ) ・ 凹凸タイプ ( ・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) )					
吸音材料					
・ ロックウール吸音ボード1号 ・ 25 ・ グラスウール吸音ボード32K ・ 25 (ガラスクロス色)					
せっこうボード製品					
・ せっこうボード ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 不燃精磨せっこうボード ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様) ・ 9.5 (不燃) ・ シージングせっこうボード ・ 12.5 (不燃) ・ 強化せっこうボード ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ せっこうラスボード ・ 9.5 ・ 化粧せっこうボード (柱目 ・ 板目) ・ 化粧せっこうボード (木目) 模様 ( ・ 柱目 ・ 板目 ) ・ 専用下地材張り ・ 12.5 (不燃) 幅440mm程度 ・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様) ・ 9.5 (準不燃)					

20 仕上り工事	項目	特記事項			
		パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ボード表面への化粧仕上げの有無 ・ 有り (種類: ) 天井のボードの重ね張りの張り付け方法 (19.7.3) (ロックウール吸音板を除く) せっこうボードの目地工法 (19.7.3) 種類 ・ 難目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目隠し工法 せっこうボードのエッジの種類 (突付け工法、目隠し工法の場合) ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ			
		材料 (19.7.2)			
		種類	規格	防火処理	
		・ 普通合板	品名 (厚さ ( ※ 5.5mm ) 板面の品質 (広葉樹 ( ※ 2等以上 ) 針葉樹 ( ※ 0-0以上 ) 単板の樹種名 ( )	・ 行う ・ 行わない	
		・ 天然木化粧合板	厚さ ( mm ) 化粧板の単板の樹種名 ( )	・ 行う ・ 行わない	
		・ 特殊加工化粧合板	品名 (厚さ ( mm ) 接着の程度 ( ) 単板の樹種名 ( ) 化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装	・ 行う ・ 行わない	
		合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書19.7.2(2)(イ)のいずれかによる			
		合板の張付け ・ A種 ・ B種 (19.7.3)(表19.7.3)			
		ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2) 壁紙 ※ F☆☆☆☆ 接着剤 ※ F☆☆☆☆			
		種類 (19.8.2)			
		施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考
			紙 繊維 プラスチック 無機質 塩化ビニル その他	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
		施工 (19.8.3)			
		モルタル面及びせっこうラスター面の素地ごしらえ (表18.2.4) ※ B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらえ (表18.2.5) ※ B種 ・ A種 せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえ (表18.2.7) ※ B種 ・ A種			
		断熱材 (19.9.3)			
		断熱材打込み工法			
		種類	種類(記号)	厚さ (mm)	施工箇所
		断熱材名			
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材					
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)					
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材					
・ フェノールフォーム断熱材					
フェノールフォームを使用した断熱材及び開口部等補修のための張付け用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ (19.9.4)					
断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ ・ mm 施工箇所 ・ 図示による					
フリーアクセスフロア (20.2.2)					
材料等	構造	寸法 (mm)	高さ (mm)		
施工箇所	構造	寸法 (mm)	高さ (mm)		
・ 支柱	調整式	500×500	1.0G ・ 3.000N 0.6G ・ 5.000N		
耐震性能 ・ U値 (クラス1) ・ U値 (クラス2) 漏えい抵抗 ・ R <sub>0</sub> ≥ 1 × 10 <sup>-2</sup> Q 耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法 ※ 標準仕様書20.2.2(2)(イ)による 寸法精度 ※ 標準仕様書20.2.2(2)(オ)による					
可動間仕切 (20.2.3)					
材料等	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ		
・ スタッド式 (内蔵)	スタッド	パネル	・ メラミン樹脂焼付又は ・ アクリル樹脂焼付 ・ 壁紙張り		
・ スタッド式 (露出)			・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36		
・ スタッドパネル式					
・ パネル式					
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ パネル内に取付ける建具 ・ 有り (寸法及び形状: ※ 図示による ) ・ 無し					

21 設備工事	項目	特記事項			
		移動間仕切			
		材料及び性能等 (20.2.4)			
		操作方法による種類	圧接装置の操作方法	パネル表面材	遮音性能 (dB/500Hz)
		・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ プッシュ式 ・ ハンドル式	・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 36未満 ・ 36以上
		ハンガーレールの取付け下地 ※ 標準仕様書20.2.3(3)(ウ)による ・ 図示による			
		ハンガーレール ※ 標準仕様書20.2.4(3)(エ)による ・ 図示による			
		ランナー ※ 標準仕様書20.2.4(3)(オ)による ・ 図示による			
		パネルをランナーに取り付ける部品 ※ 標準仕様書20.2.4(3)(カ)による ・ 図示による			
		あと施工アンカー ・ 使用する (種類: 材質: 寸法: ) ・ 使用しない			
		材料及び性能等 (20.2.5)			
		パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質	
		・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ 製造所の仕様による ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	
		パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ 図示による			
		材料の種類 (20.2.6) 仕上げ			
		材料及び性能等 (20.2.7)			
		材種	形状	寸法 (mm)	取付け工法
		・ ステンレス製 (SUS304) ・ 黄銅製押出型材 ・ アルミニウム製押出型材	・ ひも状 ・ タイヤ型		※ 接着工法 ・ 埋込み工法
		黒板及びホワイトボード (20.2.9)			
黒板 区分 ※ 張付け 種類 ・ 鋼板黒板 ・ ほうろう黒板					
○ ホワイトボード (20.2.9) (初め、白、暗緑なし、900×600)					
取付箇所 ( ) (20.2.10) 寸法 ※ 図示による 厚さ ※ 5mm					
鏡 (20.2.11) ・ 衝突防止表示 形状、寸法 ( ・ 30φ ) 材質 ( ・ ステンレス製 ) ・ 非常用進入口等の表示等 ※ 消防法に適合する市販品					
表示 (20.2.11) ・ 衝突防止表示 形状、寸法 ( ・ 30φ ) 材質 ( ・ ステンレス製 ) ・ 非常用進入口等の表示等 ※ 消防法に適合する市販品					
名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種類、取付け形式 (20.2.11) ○ 図示による					
タラップ (20.2.12) 材料の種類 ※ ステンレス製 仕上げ ※ 研磨等の仕上げを行わない					
煙突ライニング (20.2.13) 煙突成形ライニング材 適用安全使用温度 °C 工法 ( )					
ブラインド (20.2.14)					
材料及び性能等 (20.2.15)					
材質	品質	操作方式	幅、高さ		
・ ポリエステル		・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 図示 ・ 図示		
巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様による					
材料及び性能等 (20.2.16)(表20.2.1)					
形式	開閉操作方式	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等		
○ シングル ・ ダブル	・ 片引き ○ 引分け ・ 電動	・ つまみひだ (三つ山) ひだ、二つ山ひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ○ プレーンひだ	・ 図示 ・ 図示		
暗黒用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上					

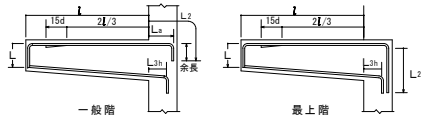
22 その他	項目	特記事項			
		カーテンレール (20.2.16)			
		材料及び性能等 (20.2.16)			
		レール及びブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 レールの材料による区分 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 レールの仕上げ ※ アルマイト レールの形状 ※ 角形 カーテン付属物 フック (ひるかん) ※ 鋼製 ・ 樹脂製			
		補強鉄線の径及び網目寸法 (20.3.2) ・ 図示による			
		製作 (20.3.3) コンクリートの設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) ※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m <sup>3</sup> を満足するように定める ・ 図示による			
		配筋 ※ 監督職員の承諾による ・ 図示による			
		取付け方法 (20.3.4) ・ 図示による			
		材料及び性能等 (20.4.2)			
		材料	材種	種類	質量区分
		・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	-	
		・ コンクリート間知ブロック	-		・ A ・ B
		工法 (20.4.3)			
		積み方 ※ 谷積み ・ 布積み 目張り ・ 図示による 伸縮調整目地 材種 ・ 図示による 厚さ ・ 図示による			
		ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.4.2)			
		溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ※ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示による			
		材質 ※ 集成材 (仕上げ: ) ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 種類 (標準仕様書表14.2.1) ・ B C-1種 ・ B C-2種 色合い ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) ・ 鋼製 (仕上げ: )			
		天井点検口 (20.4.3)			
		材種	寸法	形式	外枠 内枠
・ アルミニウム製	・ 450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 屋内外用 ・ 目地タイプ	・ 縦線タイプ ・ 横線タイプ ・ 目地タイプ		
床点検口 (20.4.3)					
材種	寸法	形式	備考		
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 密閉型 ・ 屋内外用	・ 畳付き		
耐震スリット (20.4.3)					
方向	タイプ	耐火性能	防水性能		
・ 垂直方向 ・ 水平方向	・ 完全 (全貫通型) ・ 非貫通型	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し		
目地 (20.4.3)					
目地	内壁	外壁			
・ 目地材	・ シーリング材 (見え掛り部のみ)	・ シーリング材 (見え掛り部のみ) ・ シーリング材 (内外とも)			
・ 目地寸法 (mm)	・ 幅20×深さ10	・ 幅20×深さ10			
目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による					
止水板 (20.4.3)					
形式 ・ 差込式 ・ 据置式 ・ 壁張り式 施工箇所 ・ 図示による					
エキスパンジョイント金物 (20.4.3)					
材種	クリアランス	耐火性能	備考		
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製	・ 50 ・ 100	・ 有り ( ) ・ 無し			
(注) 外部は防水型とする					
くつきマット (20.4.3)					
材種	受け枠	備考			
・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼 (SUS304) 製	・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 硬質アルミニウム合金				



# 鉄筋工事仕様書 No. 2

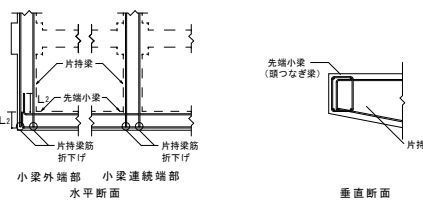
## 2. 片持梁主筋の継手、定着及び余長

### 1) 先端に小梁のない場合



- (注)
- 印は、余長位置を示す。
  - 先端の折曲げ長さは、梁せいからぶり厚さを除いた長さとする。
  - 図示のない事項は、大梁の項による。
  - L<sub>1</sub>の数は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

### 2) 先端に小梁がある場合



- (注)
- 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
  - 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
  - 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

## 壁及びその他の配筋

### 1. 壁の基準配筋

#### 1) 壁の基準配筋は下図による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

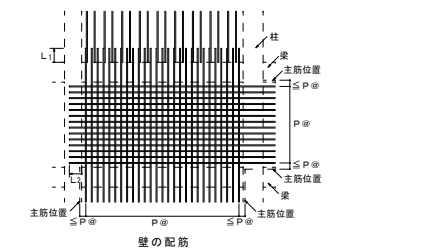
(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

#### 2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ダブル	180	KA1 KA3
	横筋 D10-200@ダブル		
KW2	縦筋 D13-150@ダブル	200	KA2 KA4
	横筋 D10-200@ダブル		

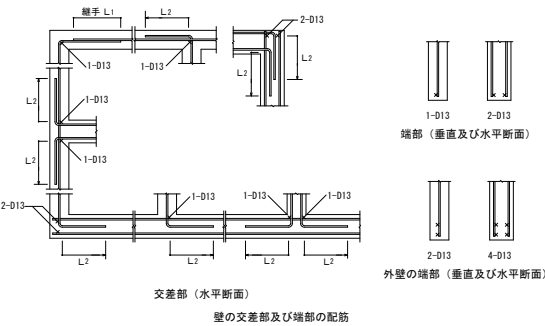
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

### 2. 壁の継手及び定着



- (注)
- 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
  - 壁配筋の重ね継手はL<sub>1</sub>、定着長さはL<sub>2</sub>とする。
  - 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
  - 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはけない。

### 3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

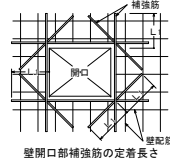


### 4. 壁開口部の補強

#### 1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁の種類	壁開口部補強筋 (A形)		壁開口部補強筋 (B形)	
	縦筋	斜め	縦筋	斜め
W12, W15	1-D13	1-D13	2-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13	4-D13	2-D13

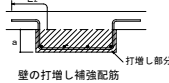
#### 2) 壁開口部補強の定着長さは、下図による。



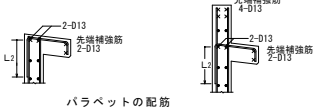
#### 3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げるにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

### 5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50mm以上の場合の補強を示す。



### 6. パラベットの配筋



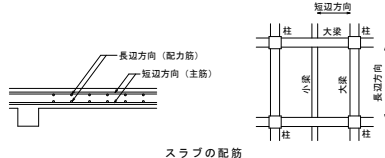
## スラブの配筋

### 1. スラブの基準配筋

#### 1) スラブの基準配筋

スラブの基準配筋		スラブの基準配筋			
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@	D10-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上	D10-200@
S 3	同上	D10, D13-150@	S 10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S 11	同上	D10-200@
S 5	同上	D10, D13-150@	S 12	同上	D10-250@
S 6	同上	D10-150@	S 13	D10-200@	D10-200@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S 14	同上	D10-250@

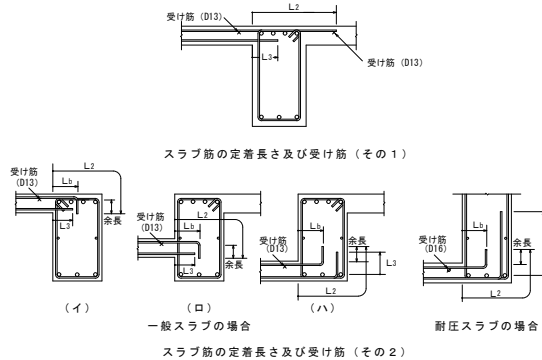
(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



#### 1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。

2. 鉄筋の重ね継手長さは、L<sub>1</sub>とする。

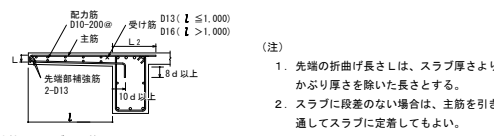
### 2. スラブ筋の定着及び受け筋



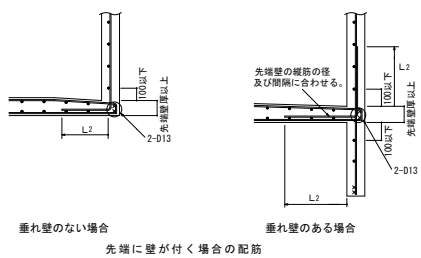
### 3. 片持ちスラブの基準配筋

#### 1) 片持ちスラブの基準配筋

片持ちスラブの基準配筋		片持ちスラブの基準配筋	
配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100@	CS5	上 D10-200@
	下 D13-200@		下 D10-400@
CS2	上 D13-150@	CS6	上 D10, D13-200@
	下 D13-300@		下 —
CS3	上 D10, D13-150@	CS7	上 D10-200@
	下 D10, D13-300@		下 —
CS4	上 D10, D13-200@		
	下 D10-200@		

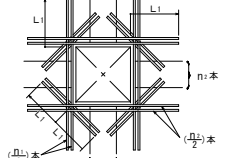


#### 4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。



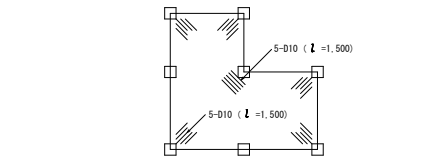
### 5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合に限る。)

- スラブ開口部によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L=2L<sub>1</sub>) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- スラブ開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

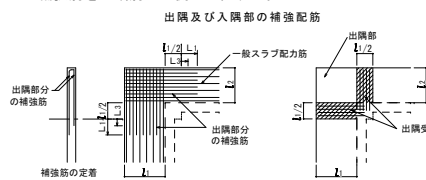


### 6. 屋根スラブの補強

#### 屋根スラブの出隅部及び入隅部



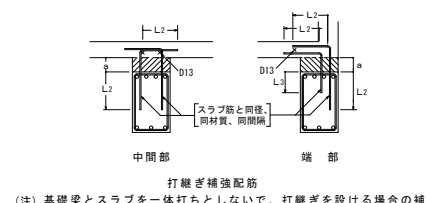
補強筋を上端筋の下側に配置する。



(注) 1. L<sub>1</sub> ≥ L<sub>2</sub>とする。 (注) 1. L<sub>1</sub> ≥ L<sub>2</sub>とする。

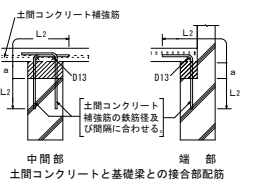
### 7. スラブの打継ぎ補強等

#### 1) 土間スラブの打継ぎ補強



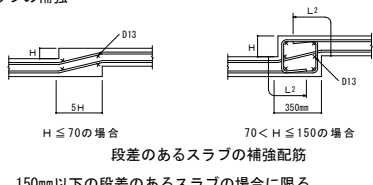
(注) 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強を示す。

#### 2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



- (注) 1. 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
2. aが300mm以下の場合に限る。

### 8. 段差のあるスラブの補強



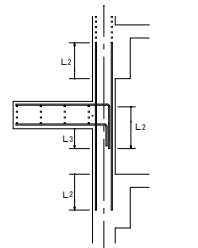
150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

## 階段の配筋

### 1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

配筋種別	KA 1	KA 2
配筋図		
配筋種別	KA 3	KA 4
配筋図		

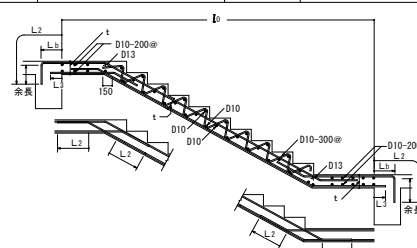


片持ちスラブ形階段配筋の定着

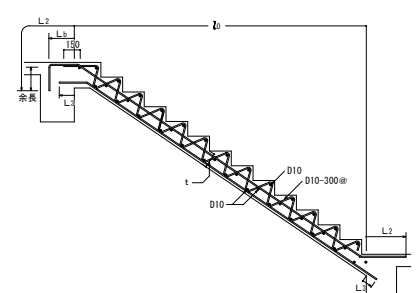
### 2. 二辺固定スラブ形階段

#### 二辺固定スラブ形階段の基準配筋

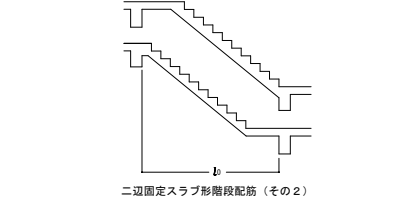
配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
KB 1	D13-200@	KB 5	D16-150@
KB 2	D13-150@	KB 6	D16-125@
KB 3	D13-100@	KB 7	D16-100@
KB 4	D13, D16-150@		



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

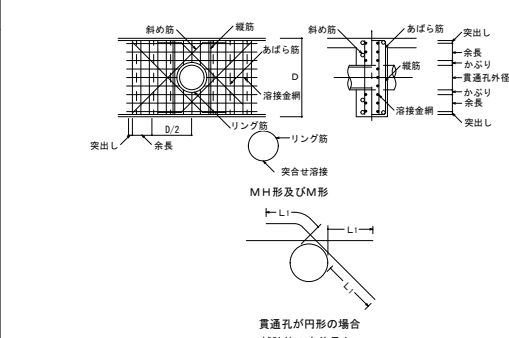
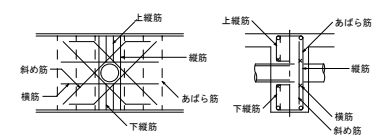


二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

## 梁貫通孔及びその他の配筋

### 1. 梁貫通孔の配筋

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
- 孔の上下方向の位置は梁せいの中心付近とし、梁中央部においては梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
- 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付梁は除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



### 2. 梁貫通孔の補強形式

配筋種別	H形配筋			配筋図
	斜め筋	縦筋	横筋	
H 1	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16			
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	
H 7	4-2-D22			

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

配筋種別	M形配筋			配筋図
	縦筋	溶接金網		
M 1	2-2-D13	なし		
M 2	4-2-D13			
M 3	4-2-D13			
M 4	6-2-D13			

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

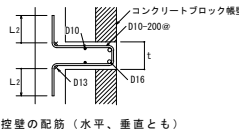
配筋種別	MH形配筋			配筋図
	斜め筋	縦筋	溶接金網	
MH 1	なし	なし		
MH 2	2-2-D13			
MH 3	2-2-D13			
MH 4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH 5	4-2-D16			
MH 6	4-2-D16			
MH 7	4-2-D19	4-2-D13	2-6φ-100@	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

- (注) 1. 大抵認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

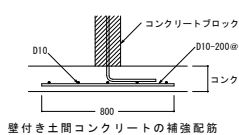
### 3. コンクリートブロック積壁との取合い

#### 1) 控壁の配筋



控壁の配筋 (水平、垂直とも)

#### 2) 横壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



壁付土間コンクリートの補強配筋

工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事

図面名称 鉄筋工事仕様書 No. 2

2026年5月

図面 No.

福山市 11/18

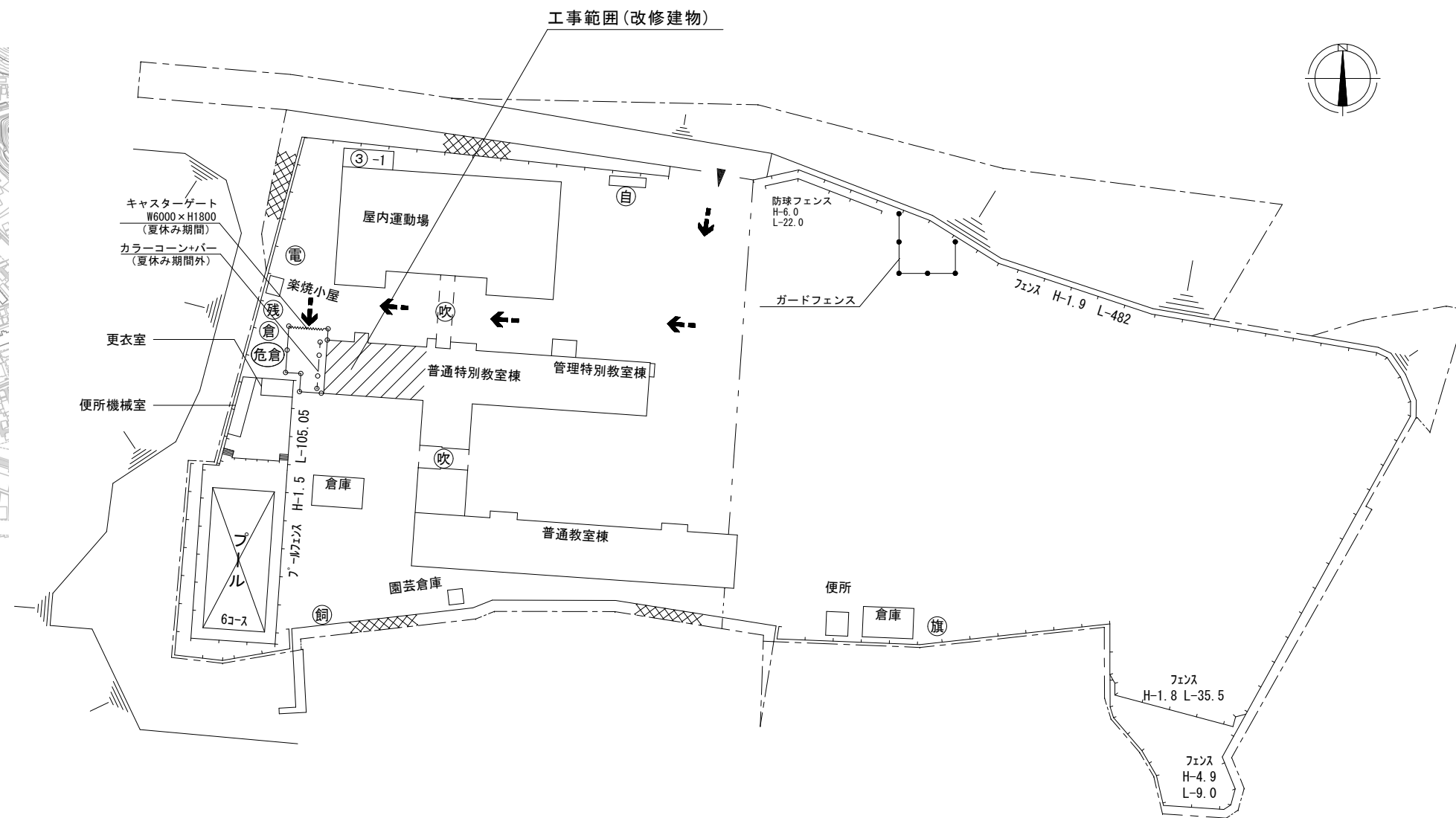
凡例

記号	内容
	工事範囲(改修建物)
	仮囲い:成形鋼板 H=2000
	キャスターゲート W=6000 H=1800
	仮囲い:ガードフェンス
	仮囲い:カラーコーン+パー
	工事車両進入路



工事場所  
北吉津町五丁目6番15号地

敷地案内図 NoScale

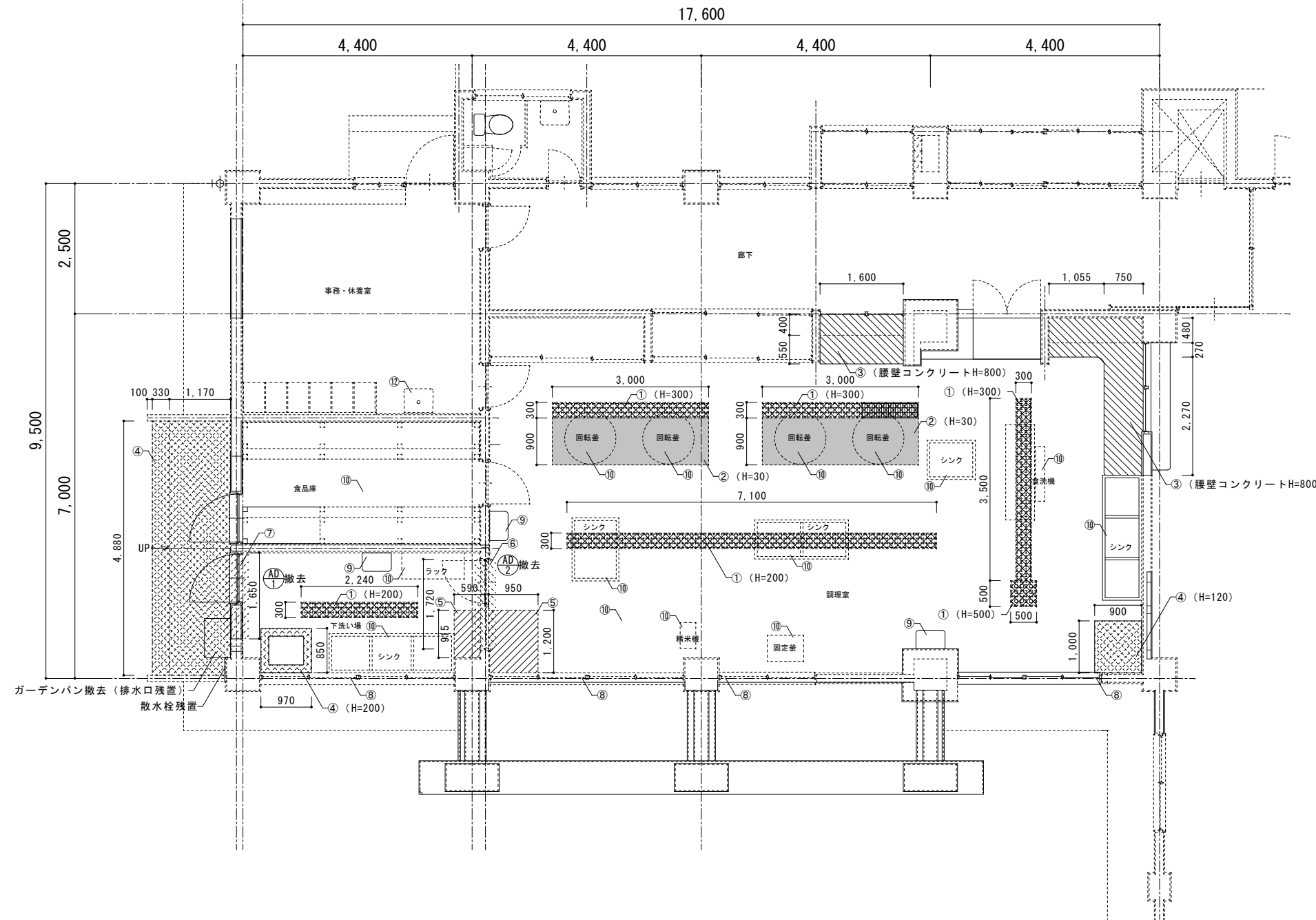


配置図 S=1/500

工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事		尺度 S = 1/500
図面名称 敷地案内図・配置図		縮尺率 図面No
	福山市建設局建築部営繕課	A1=100% 12
		A2=71% 18
		A3=50%

①	既存グレーチング撤去、溝部モルタル埋め
②	段差部モルタル埋め
③	カッター入れ、既存ステンレス製カウンター及び下部コンクリート撤去、撤去部モルタル補修(鉄筋端部防錆処理)
④	カッター入れ、既存立上りコンクリート撤去、撤去部モルタル補修(鉄筋端部防錆処理)
⑤	既存人造石研出し撤去、撤去部モルタル補修
⑥	カッター入れ、既存建具撤去、既存コンクリート腰壁撤去、撤去部モルタル補修(鉄筋端部防錆処理)
⑦	カッター入れ、既存建具撤去、既存コンクリート壁撤去、撤去部モルタル補修(鉄筋端部防錆処理)、建具新設、外壁下地調整のうえ複層塗材E塗
⑧	既存壁用換気扇撤去、撤去部アルミパネル新設(450角)、端部シーリング打設
⑨	既存手洗い撤去、壁ビス穴等補修
⑩	既存調理器具撤去(その他備品撤去共)、床・壁ビス穴等補修
⑪	既存ステンレスフード撤去(その他備品撤去共)、撤去部アルミパネル新設(450角)、端部シーリング打設、壁・天井ビス穴等補修
⑫	既存手洗い撤去、手洗い新設、電気温水器新設、壁ビス穴等補修

※納まり・大きさ等は、現場確認の上決定する。  
 ※特記なき備品撤去については、監督員と協議する(消火器とホワイトボードは残置する。)  
 ※工事場所の内部建具等の開口部には、隣室及び廊下に粉塵の侵入対策とし、目張り養生を講じてください。

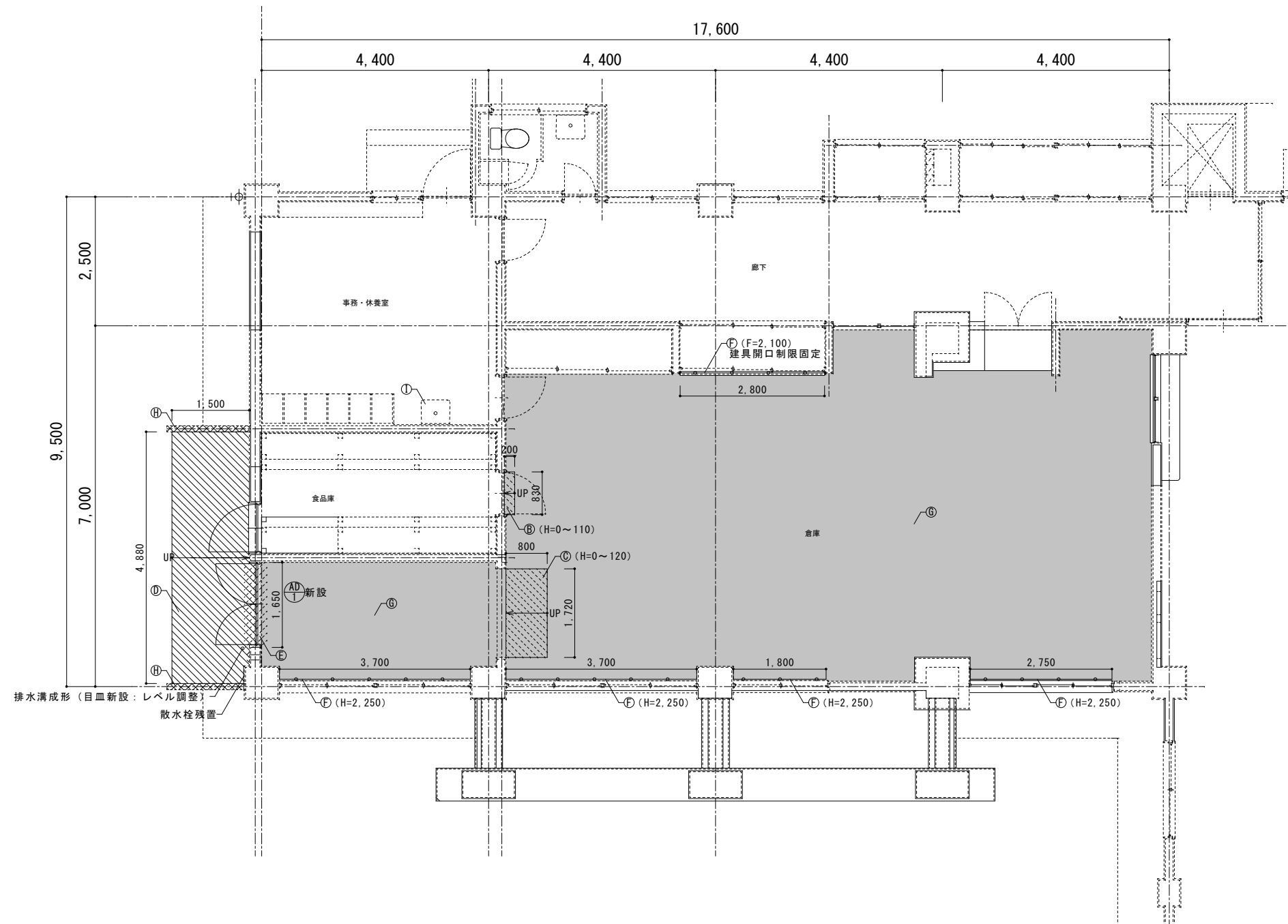


平面図(改修前) S=1/50

工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事		尺度 S = 1/50	
図面名称 平面図(改修前)		縮尺率	図面No
福山市建設局建築部営繕課		A1=100%	13
		A2=71%	
		A3=50%	

	① 間仕切壁新設 (LGS65型下地+石膏ボードt=9.5)、ボード面下地調整のうえEP塗装、既存取合い部シーリング打設
	② ステンレス製スロープ新設
	③ カッター入れ、既存床目荒らし (t=30)、金属拡張あと施工アンカー@450、溶接金網 (Φ6×150×150)、モルタル金鍍仕上げスロープ新設
	④ 金属拡張あと施工アンカー2段@400、上下D10@200ピッチ (主筋、配力筋共)、コンクリート木鍍仕上げスロープ新設、排水溝成形 (目皿新設：レベル調整)
	⑤ カッター入れ、既存建具撤去、既存コンクリート壁撤去、撤去部モルタル補修 (鉄筋端部防錆処理)、建具新設、外壁下地調整のうえ複層塗材E塗
	⑥ 下地確認のうえ遮光カーテン新設 (カーテンレール共) ※廊下側建具は開口制限固定 (ビス止め程度)
	⑦ 劣化部補修、ケレン・清掃、下地調整、防滑性防塵塗床
	⑧ 既存コンクリート立上り天端モルタル補修 (仕上げレベル：新設コンクリートスロープ天端より+50mm以上)
	⑨ 既存手洗い撤去、手洗い新設、電気温水器新設、壁ビス穴等補修

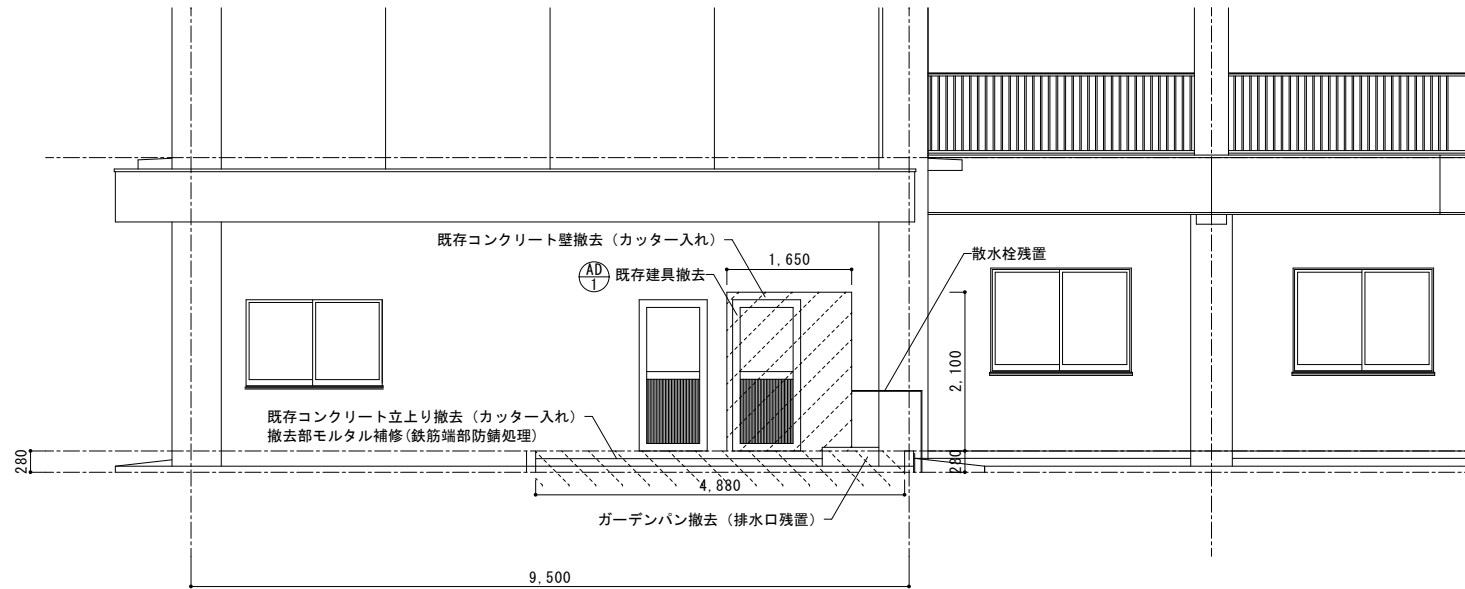
※納まり・大きさ等は、現場確認の上決定する。



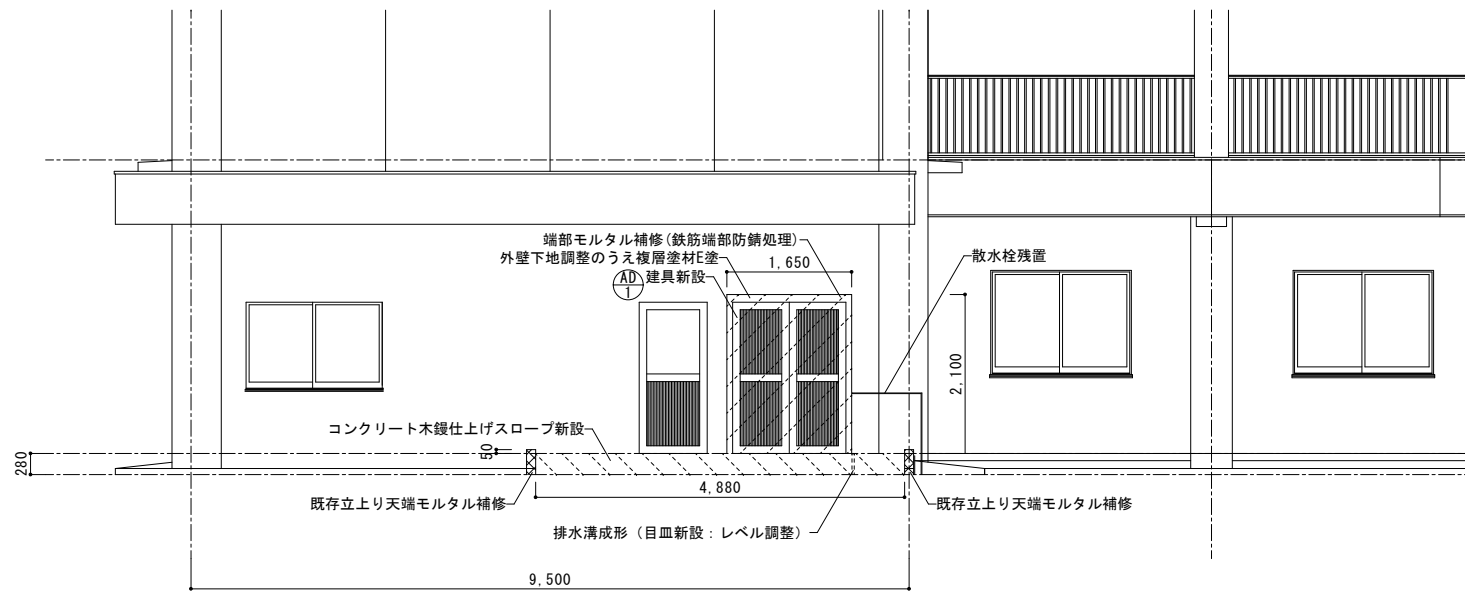
平面図 (改修後) S=1/50

<p>⑥ 防滑性防塵塗床 S=1/10</p>
<p>② ステンレス製スロープ新設 S=1/20</p>
<p>③ モルタル金鍍仕上げスロープ新設 S=1/20</p>
<p>④ コンクリート木鍍仕上げスロープ新設 S=1/20</p>

<p>工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事</p>		<p>尺度 S = 1/50</p>
<p>図面名称 平面図 (改修後)</p>		<p>縮尺率 図面No A1=100% 14 A2= 71% 18 A3= 50%</p>
<p>福山市建設局建築部営繕課</p>		



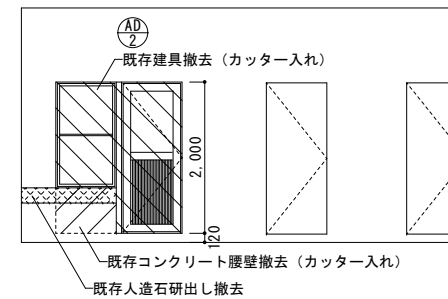
西面立面図 (改修前) S=1/50



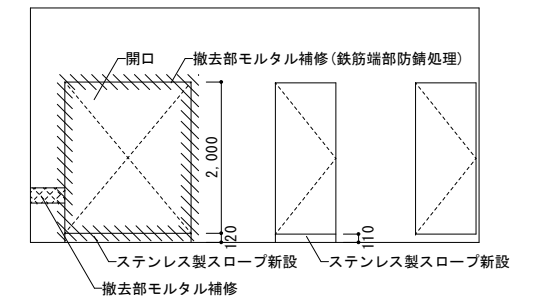
西面立面図 (改修後) S=1/50

符号	数量	AD 1 片開き戸: 既存撤去	1	AD 1 両開き戸: 新設	1
形状					
仕上・見込	アルミ		見込 70	アルミ	
ガラス	上部ガラス・下部アルミパネル		アルミパネル		
金物	標準金物一式		丁番・握り玉・サムターン・ドアクローザー (ストップ付き)・戸当り・シリンダー錠・標準金物一式		
備考	下部水切り		下部水切り・既存マスターキー合わせ (4本)		

符号	数量	AD 2 上下窓付き片開き戸: 既存撤去	1
形状			
仕上・見込	アルミ		
ガラス	上部ガラス・下部アルミパネル		
金物	標準金物一式		
備考	下部水切り		

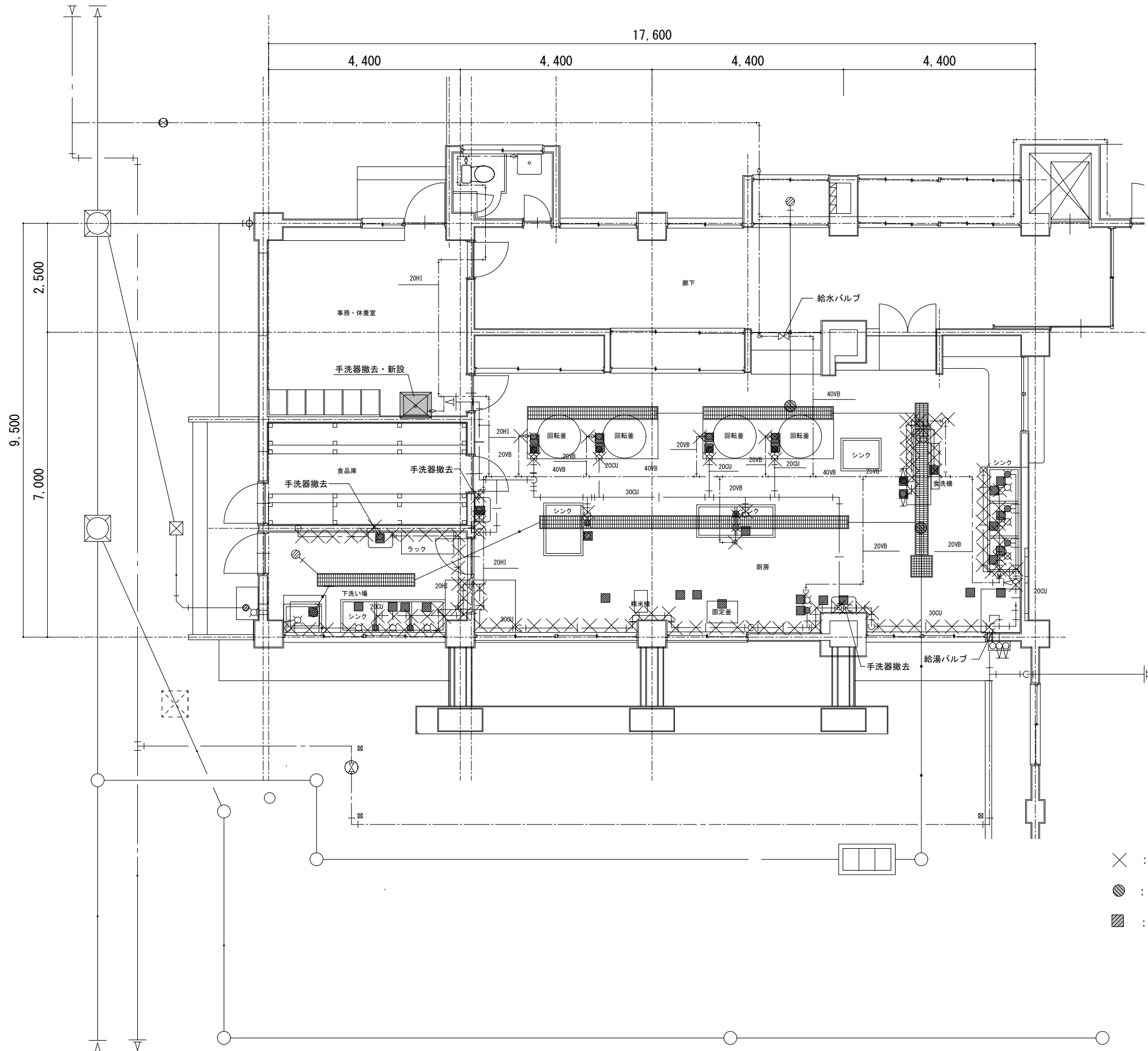


調理室東面展開図 (改修前) S=1/50



調理室東面展開図 (改修後) S=1/50

工事名称		福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事		
図面名称		尺度	S = 1/50	
立面図、展開図、建具表		縮尺率	図面No	
福山市建設局建築部営繕課		A1=100%	15	
		A2=71%		18
		A3=50%		



新設機器リスト

器具名称	仕様 (参考品番)	数量	備考
洗面器	L250CM, TL250D, TLDP2105JA	1	あふれ縁高さ=750mm
電気温水器 (専用水栓付)	REBHO3B11S11ED	1	止水栓同梱

配管撤去端部はプラグまたはキャップ止め

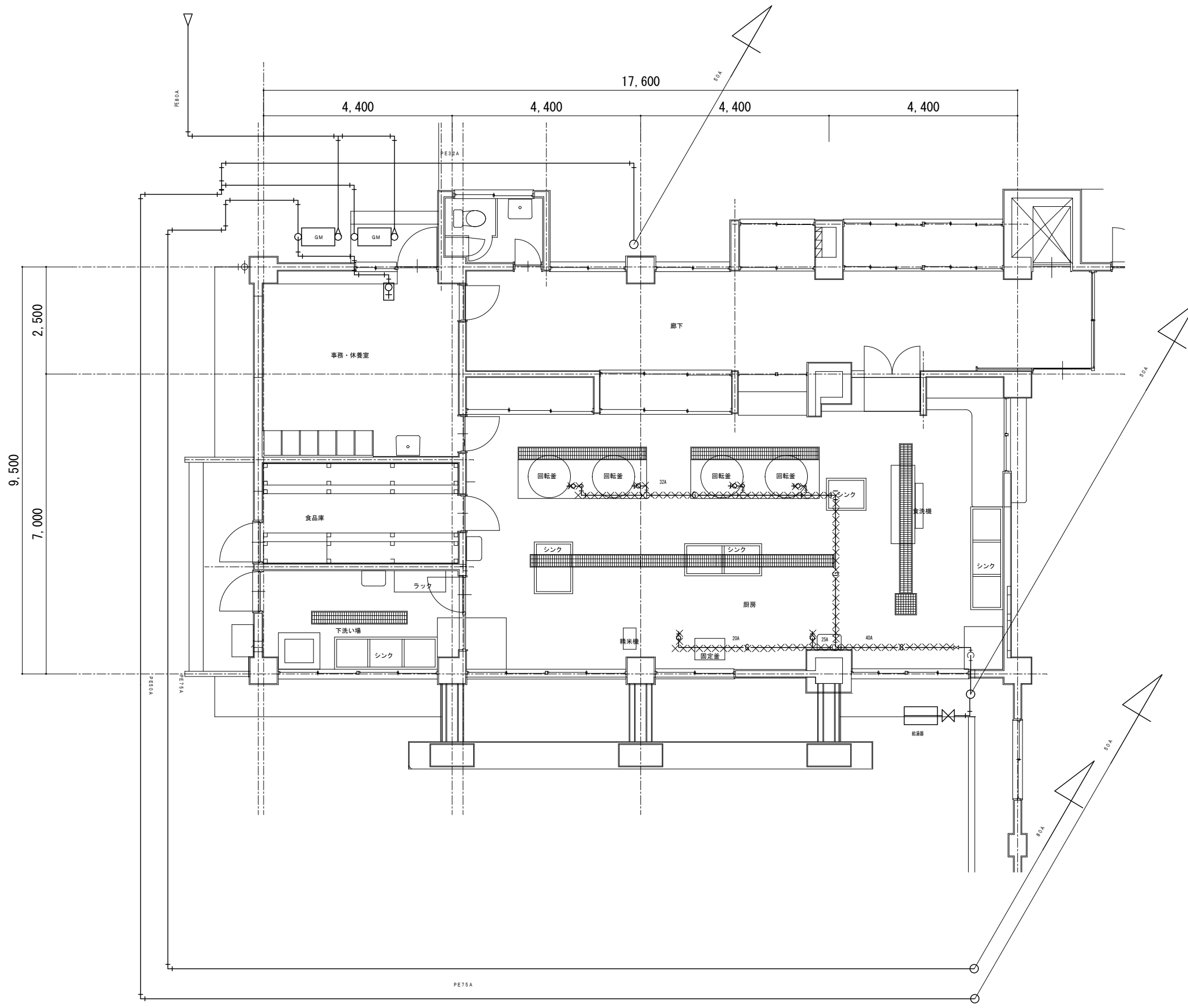
✕ : 撤去を示す (FL=0~2,000までの吊、壁、床転がしの配管 (保温共) を撤去する)

● : 開口部穴埋め箇所施工を示す

■ : 開口部周辺の床はつり後、スラブ面下で配管キャップ止め

平面図 (給排水衛生設備) S=1/50

工事名称	福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事		
図面名称	平面図 (給排水衛生設備)	尺度	S = 1/50
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No	
	A1=100%	16	18
	A2= 71%		
	A3= 50%		



✕ : 撤去を示す  
 配管撤去端部はプラグまたはキャップ止め  
 ガスメーター撤去済み予定

平面図 (ガス設備) S=1/50

工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事		尺度 S = 1/50	
図面名称 平面図 (ガス設備)		縮尺率	図面No
福山市建設局建築部営繕課		A1=100%	17/18
		A2= 71%	
		A3= 50%	



# 参考数量書

§ 工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事

§ 工事場所 福山市北吉津町五丁目6番15号

## 特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

# 設 計 書

工事名称 福山市立桜丘小学校給食室倉庫改修工事

工事場所 福山市北吉津町五丁目 6 番 1 5 号

【工事概要】  
給食室改修工事 一式

改修対象 給食室  
改修面積 87㎡







改修						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
土工事		1		式		
地業工事		1		式		
鉄筋工事		1		式		
コンクリート工事		1		式		
型枠工事		1		式		
防水改修		1		式		
外壁改修		1		式		
建具改修		1		式		
内装改修		1		式		
ユニット及びその他工事		1		式		
排水工事		1		式		
とりこわし工事		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工事	土工事	1	式		
計					
地業工事	地業工事	1	式		
計					
鉄筋工事	鉄筋工事	1	式		
計					
コンクリート工事	コンクリート工事	1	式		
計					
型枠工事	型枠工事	1	式		
計					
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	改修	1	式		
計					



























改修		とりこわし工事		とりこわし		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
グレーチング撤去	W=3.0 集積共	18.8	m			
グレーチング撤去	500角 集積共	1	か所			
カッター入れ		33.1	m			
ステンレス製カウンター撤去	集積共	4.6	m <sup>2</sup>			
人研ぎ框・面台撤去	集積共	1.7	m <sup>2</sup>			
AD-1建具撤去	ガラス共 集積共	1	か所			
AD-2建具撤去	ガラス共 集積共	1	か所			
コンクリート撤去	集積共	2.8	m <sup>3</sup>			
コンクリート面目荒し	床 t=30mm程度 集積共	1.4	m <sup>2</sup>			
カーテンパン撤去		1	か所			
換気扇撤去		4	か所			
手洗器撤去	水栓類等付属品共 水石けん入れ 鏡撤去 化粧棚撤去 ペーパータオルホルダー撤去	4	台			
設備配管撤去		1	式			別紙 00-0001
厨房機器撤去		1	式			別紙 00-0002
計						





名 称	摘 要	とりこわし工事		とりこわし		
		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設備配管撤去		1	式			別紙 00-0001
給水管撤去 (鋼管類)	屋内一般 20A 保温材共 端部プラグ止め	34	m			
給湯・保温付 被覆銅管 撤去	屋内一般 20A 端部プラグ止め	20	m			
給湯管撤去 (鋼管類)	屋内一般 20A 保温材共 端部プラグ止め	18	m			
給湯・保温付 被覆銅管 撤去	屋内一般 32A 端部プラグ止め	6	m			
給湯管撤去 (鋼管類)	屋内一般 32A 保温材共 端部プラグ止め	11	m			
ガス管 鋼管類 撤去	屋内一般 20A 端部プラグ止め	17	m			
ガス管 鋼管類 撤去	屋内一般 25A 再使用しない 端部プラグ止め	6	m			
ガス管 鋼管類 撤去	屋内一般 32A 再使用しない 端部プラグ止め	11	m			
ガス管 鋼管類 撤去	屋内一般 40A 再使用しない 端部プラグ止め	6	m			
開口部穴埋め		2	か所			
床はつり開口部キャ ップ止め		36	か所			
EM-CEケーブル 撤去	3.5mm2- 4C 管内 再使用しない	5	m			
合成樹脂製可とう 電線管 (PF管、CD管)撤去	22 再使用しない	4	m			
硬質ビニール電線管 撤去	(VE22, HIVE22) 再使用しない	1	m			
プルボックスSS-V形 (合成樹脂製) 撤去	0.2㎡未満/個 再利用しない	1	個			
計						



